

同窓会通信

友よ、母校よ。
つながりこそ、強さ。

特集 1 >>> 座談会

知をつなぎ、伝統を継いで、いま、最高学府をリードする大学へ。

特集 2 >>>

つながり、広がる母校の「心」と「絆」。



CONTENTS

03 特集 1 >>> 座談会

知をつなぎ、伝統を継いで、
いま、最高学府をリードする大学へ。

11 特集 2 >>>

つながり、広がる母校の「心」と「絆」。

- 17 つながり広がる 新キャンパス始動!
- 19 2012 ロンドンオリンピックレポート
- 21 魅せるひと、魅力の名店
- 23 ホームカミングデー
- 25 第9回名刺交換会
- 27 役員紹介
- 28 各支部からのたより
- 33 支部会報告
- 43 同窓生も使える施設紹介
- 45 校友会本部からのお知らせ

友よ、母校よ。 つながりこそ、強さ。

一九五八(昭和三十三年)の設立から五十五年。卒業生は十二万人を超え、全国に五十一支部を擁する大きな組織となった中京大学同窓会。

一方、我々が母校・中京大学は十二学部十一研究科を数える総合大学へと発展し、校友たちは多岐に亘る分野で活躍しています。

そんな母校を中心としたつながり、人と人とのネットワークの広がりは、同窓生として誇らしさと同時に、目標に立ちむかう力を与えてくれるはずで

同窓生一人ひとりの活躍が 母校の発展、伝統につながる。

中京大学同窓会は現在、一都一都道府四十三県に五十一支部を擁しています。昨年度、各支部を訪問して千人以上の同窓生と会話を交わし、名刺の束の厚みも十五センチを超えました。ある支部では、会員のご子息やお嫁さんまで同窓生とご紹介いただき、我が同窓会五十五年の積み重ねたるや何と素晴らしいものかと、目には見えないパワーを改めて感じた次第です。

さて二〇一二年は、室伏広治選手、中村明彦選手、市川華菜選手、山本聖途選手と母校から四選手が出場するロンドン五輪に沸いた年でした。また同窓生の松田丈志選手は、バタフライで銅、メドレーリレーで銀、そして水泳以外でもメダルを獲得しました。



同窓会長 川岸 信一

「(北島康介選手を)手ぶらで帰らせるわけにはいかない」、二〇一二年の流行語大賞にもトップテン入りしたこの言葉には、松田選手の間味あふれる「情愛」「思いやり」「万感の愛」が込められています。スポーツマンも多い中京大学同窓生ですが、この松田氣質はすべての同窓生に相通するのではないのでしょうか。

また滋賀県立伊香高等学校は創設百十七年の歴史ある名門校ですが、校長先生はじめ六名の先生方が同窓生です。彼らの教え子が中京大学を卒業して教員となり、さらにその教え子もまた同じ道を歩んで、と、そうした繰り返しで伝統のように受け継がれているとのこと。つながり、広がる「まさに同窓会のお手本のようなエピソードだと感じました。

中京大学の発展と同窓会の発展は、クルマの両輪であり、同窓生諸氏の各界での活躍が母校の発展、そして伝統へとつながっています。ですからどうぞ皆様、支部同窓会、名刺交換会等々にご出席いただいてビジネスのヒント、明日への活力を得ていただきたいと思えます。必ず何らかの収穫を得ていただけることでしょう。

開学六十周年の新たな出発

「NEXT10」

理事長に就任して二年目の春を迎えました。この間、職を支えてくださった内外の多くの方に厚く御礼申し上げます。

私が中京大学に奉職したのは一九九四年です。当時八学部十三学科体制であった本学は、今日までの十八年間に四学部を改組し、三学部が新設されました。現在、十一学部十八学科、九研究科とロースクール、ビジネススクールを擁する有数の総合大学へと飛躍しましたが、この間、学部の学生数は変わっていません。一九九四年度二万三〇八四人、二〇二二年度は一万二九七二人です。私が直に見てきた本学十八年間の躍進は、入学定員を増やすことなく、時代の潮流、社会の要請に応じて新たな学問分野を開拓・提供してきた



梅村学園理事長 小川 英次

からに他なりません。

絶えざる改革の底流には「学生第一主義」の思想と「フロンティア精神」が脈打っています。改革の原動力は中京コミュニティを構成する教員、職員、同窓生の「繋（つな）がり」の強さです。大学は共同体、一つの大きなコミュニティです。相互の「きずな」が強くなければ共同体は強くなれません。学生を第一に考えてきたが故の、また、教職員が一致して「トップ・ユニバーシティ」を目指してきたが故の、強い結びつきであると思っています。中京大学は来年、開学六十周年を迎えます。人間に例えれば、生まれた年の干支に戻る「還暦」です。次の六十年へと改革を進めるうえで、文武不岐を説いた建学の精神を再確認しつつ、時代が要請する人格の形成と、教育内容の一層の充実・発展を目指した十年計画「NEXT10」の策定を決定し、完成間近です。中京大学の新たな出発をテーマとしたブランドデザインです。

今後とも魅力と特色ある大学の更なる確立に向け、不断の改革を進めていきますので、変わらぬご支援をお願い申し上げます。

同窓会の固い絆、連携の要となる 母校であり続けるために。

早いもので学長となり、九十六年が過ぎようとしています。この間、卒業生は十一万人を大きく上回りました。中京大学のこの発展については多くの方々、なかでも同窓会OB、OGのご支援を頂いているおかげ、と心より感謝いたしております。

十二万人を超える同窓生は国内のみならず海外においても目覚ましい活躍をされています。台湾、オーストラリア、アメリカ、カナダにおいても支部会は活発な活動を続け、同窓会の絆は世界中に広がっています。建学の精神「学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ」を掲げ、世界に通ずる人材養成を進めている本学の面目躍如といったところです。



中京大学学長 北川 薫

このような絆、連鎖を広げるには、中心となる中京大学そのものの元気が重要と心得ています。名古屋キャンパスでは、本年の四月には新二号館、新十一号館、工学部の実験棟がオープンします。新二号館には図書館が入り、五百人収容のホールなどが新設されます。豊田キャンパスはユニバーシティパークとも言える広大で美しい佇まいとなっています。このようなハード部分の充実に加え、後輩達の教育に対してはFDの名のもと、ソフト面での充実には教員一同取り組んでいます。

中京大学はハード、ソフトともに、ゆるぎない体制を固めているところですが、十二万人を超える同窓会の皆さんが固い絆を持って世界に活躍する上で、母校である中京大をキーストーンとして、心身ともに連携を持っていただけるよう教職員一同協力して頑張っていきます。

理事会におきましても、中京大学の十年構想を「NEXT10」との形でまとめつつあります。その中には同窓会との連携が強くうたわれています。母校を扇の要に、卒業生の皆さんが絆と連携を持ち、手を携えて一段と飛躍することを確信しています。

特集 Ⅰ
座談会

知をつなぎ、伝統を継いで、 いま、最高学府をリードする大学へ。

2014年には開学60周年を迎える母校、中京大学。すでに11万1000余名の卒業生を送り出し、あらゆる業界の第一線で同窓生が八面六臂の活躍を見せています。なかには最高学府たる大学教育界、とりわけ体育学の分野においてバイタリティを発揮する大学教員も数多く、今回は最先端の研究と人材育成を担う彼らにご登場いただきました。先見性と自由な気風という、本学ならではの伝統を受け継ぎ、中京大学発の「知のネットワーク」は今、大きな広がりを見せようとしています。

写真右から

柳原 大(東京大学 准教授)／長澤 純一(電気通信大学 准教授)／二宮 浩彰(同志社大学 教授)
来田 享子(中京大学 教授)／北川 薫(中京大学 学長)／高見 京太(法政大学 教授)
矢内 利政(早稲田大学 教授)／片岡 武司(中京大学校友会本部 本部長)※本座談会司会



博士課程を目指す学生を引き寄せる、求心力の高い研究科として

片岡（以下、敬称略） 中部地区の私大において中学校・高等学校教員ナンバーワン（二〇二一年度）の合格者を誇る中京大学ですが、現在、約五千名の卒業生の方々が全国の小中高、特別支援学校、大学で教員として頑張っておられます。中京大学としては毎年、多くの人材を教育界に送り出しているという自負を持ってはいるわけですが、しかしその中で、最高学府たる大学で教鞭を執っておられる方々の姿があまり見えません。

そこで今回は、体育学のプロとして大学教育や研究に、情熱を注いで

いらっしゃる同窓生の皆様にお集まりいただき、母校の思い出や大学生を教える喜び、あるいは専門領域について大いに語っていただきたいと思っています。

北川 少し補足しますと、かつてグローバルに活躍できる高度な人材の養成を目的に、大学院教育において修士課程（前期二年）から博士課程（後期三年）教育に重点が置かれるようになったわけですが、本学が体育学研究科に博士課程を開設したのが一九八七年です。これは筑波大学に続いてわが国二番目のことです。それが、それから約十年経って、日本体育大学が博士課程を設けた。つまり体育学で博士号を取ろうと思っても、当時は行き場がなかったわけです。

そうした中での博士課程開設は、私学初の試みとして注目されましたし、優秀な人材が大勢集まりましたね。片岡 なるほど。今回はそうした方々にお集まりいただけましたというところで：（笑）。では早速、皆さん中京大学で学ばれたことになったきっかけというのは何だったのでしょうか。

長澤 優秀かどうかはさておき（笑）、まさに北川先生のご説明の通りで、私は早稲田大学で学部、順天堂大学で修士課程を修了しましたが、その後、博士課程に進もうと思っても当時は道がありません。そこでタイミングよく開設された中京大学に進学したわけです。なにぶん一期生でしたからモノもなく、システムも整っておらず、とにかくすべてが

「これから」という状態。しかし欲しい機材はほとんど揃えていただけましたし、研究に関しても「好きなようにやれ」と、ある意味、放っておかれました（笑）。でもそれが非常にやりやすかったし、結果的に力を培うことにつながったと思います。

北川 長澤さんは、本学研究科初の博士号取得者であり、彼が頑張ってくれたおかげで後進が続きましたが、つけ加えるなら、その自由さについては本学の良いところでしょうね。大学院によっては、決められた研究テーマを与えられることも多いのですが、やはり伸びるためには主体的に考え、自分で工夫することが大事ですよ。そのための放任主義というか、柔らかな指導とでもいうべき

「自分の眼で見て、自分の好きなことをやれ。その方が伸びるから。私の信念です。」

中京大学

北川 薫 学長

「研究やスポーツの実践に研鑽できたのは、
おおらかな空気のせいかもしれません。」

でしようか。その流れは今も継続しています。

片岡 いかにも大学院らしいスタイルではないかと思われませんが…。柳原先生はいかがですか？長澤先生と同じ、順天堂大学のご出身だそうです。

柳原 ええ。長澤さんが一つ上の修士の先輩です。同時代ですので、私も進路について悩みましたが、調べてみると中京大学には御手洗玄洋教授という素晴らしい先生がいらっしやうた。それが決め手でしたね。入学後は、自由度が高いと申しませうか、御手洗先生のお計らいで、中京大学と名大環境医学研究所を自由に行き来しながら、フリーな雰囲気の中で研究に取り組みました。

来田 じつは、私の時代には博士課

程のある大学院が出来始めていました。神戸大学で修士を終えて、学会でいろいろな先生方の発表を聞きながら進路を模索していたんですね。そんな時、「この先生のもとで研究したい」と思ったのが、中京大学の木村吉次先生でした。

北川 来田さんの研究分野は、とくに師匠がいなかったからね。博士課程を指導できるのは国内でも唯一、木村先生ぐらいだったと思いますよ。結局、ドクターコースを増設する時に、石河利寛先生、江橋慎四郎先生、松田岩男先生、前川峯雄先生：そういう体育学の各分野の第一人者を中京大学が全部かき集めちゃったんだね。それに環境生理学として御手洗玄洋先生。

二宮 本当に錚々たるメンバーで、人

文社会学系でも日本でこれだけ揃っている環境は他に無かったと思います。スポーツ科学部の菊池先生は、鹿屋体育大学時代に修士課程でご指導いただいた師匠で、「今度、中京大学に移るから一緒に来ないか」と誘っていただいた、それが博士課程を受けるきっかけでしたね。

「体育学」のプロを涵養する 豊かな土壌を育んだもの

片岡 ところで高見先生と矢内先生の二人は、中京大学体育学部（現スポーツ科学部）からのご縁ということになるのでしょうか。

高見 私は陸上がやりたくて、十五歳から中京高校（現中京大中京高

校）でお世話になり、それから三十二歳までずっと、中京一筋です（笑）。

片岡 生粋の中京っ子ですね。いちばんいいことです（笑）。

高見 居心地が良かったというのか、ゼミで北川先生と出会ってから先生の研究室にどうしても入りたくなり、大学院に進みました。ちょうどバブル期で、周りが次々と就職を決めていく中、大学院という道を選択するのは相当な変わり者でしたが、先生についていきたい気持ちが上回りました（笑）。

矢内 私は劣等生でして…。大学生になって自活しようとアルバイトを始めましたが、学業から遠ざかり、いくつか単位を落としましてね。しかもそのうち二つが英語だったもの

東京大学大学院
総合文化研究科・生命環境科学系

柳原 大 准教授（博士）

1990年度
体育学研究科博士課程修了

ですから、二年生の授業では毎日四時間、英語にとっぴり浸かりました。それが後々、アメリカ留学につながるとはおかしな話ですが…。そしてもうひとつ、二年生の授業で北川先生の運動生理学が相当に難しいと聞いていたので、進級をかけてこれを猛勉強しました。おかげで北川先生からは「優」をいただき、無事に進級もできました。つまり劣等生からスタートしたのが、私の大学生活の始まりです。



メカニクスの日本の重鎮の一人だよな。片岡 じゃあ、単位を落としたのが良かった(笑)。皆さん、ではそういった北川学長との思い出についてはいかがでしょうか。

長澤 私は直接、北川先生にご指導いただいたわけではありませんが、「医者でもできる仕事はするな」との先生の言葉は強烈に耳に残っていますし、その教えは今も守っています。

北川 つまり体育を学問として追求していくと、運動からかけ離れてしまいがちになる。そうした心配を彼らにはよく話しました。ましてや進路を考えれば、実技と絡み合っこそその職場がほとんどですから、スポーツの実践から離れるな、と強調したんですね。

來田 初めて北川先生にお会いしたのが、研究科内対抗のソフトボール大会でしたが、博士課程というのは皆さん、研究だけに没頭しているのかと思つたらそうではなかった。スポーツの実践からは絶対に離れない。その北川先生のスタンスは本当に衝撃的でしたし、スポーツを通じて対話し、幅広い人間関係をつくる絶好のチャンスを与えていただけだと思います。

「中京大学でお世話になり、しかもその経験を今、活かすことができる。ちよつと恵まれすぎでしょうか。」



法政大学
スポーツ健康学部

高見 京太 教授(博士)

1988年度
体育学部卒

1990年度
体育学研究科修士課程修了

1996年度
体育学研究科博士課程修了

「よそ者にも寛容なキャンパスでしたね。
外からの学生が多いのは、活性化する理由の一つかなと思います。」



電気通信大学
情報理工学研究所 先進理工学専攻
健康スポーツ科学部会
長澤 純一 准教授(博士)
1989年度
体育学研究科博士課程修了

体育学とは？スポーツ科学とは？

繰り返し返される問いかけの中で

矢内 北川先生の思い出と申しま
すか、「研究の質を追いかけるうちに、
『運動生理学』『生理学』『生化学』
学になり、スポーツや運動とは関係
のない学問に近づいてしまう。そこに
危機感を抱いている」ということをど
こかで話されていました。本当にそ
うだと思えますね。私自身、バイオ
メカニクスという分野を研究していま
すが、ともすれば力学、工学に寄り、
スポーツから離れてしまいがちで、そ
こでいつもブレーキをかけてくれるの
が北川先生のお話でした。やはり
あくまでもスポーツのパフォーマンス
と直結するものとして研究を究め

ていきたいですし、学生たちにも同じ
ように伝えています。

長澤 ただ、細かいところを突き詰
めていかないと、サイエンスから離れ
てしまう気がして正直、怖さを感じ
ます。もちろん「木を見て森を見



ず」ということではいけませんので、
全体像を見渡すよう指導を心がけ
ていますが、人の身体の中身の変化
については全然わからない、そんなブ
ラックボックス的な扱いで研究をどど
めてしまうことにはちょっと抵抗を
感じます。今の大学教育には、そこ
まで求められていないようですが、自
分がどの立ち位置に立てばいいのか。
悩むところではありますね。

北川 とくに生理学系では陥りや
すいところではあるでしょうね。掘り
下げていくほど研究手法も細くくな
るでしょうし、生物学や医学の分野
に進みやすいジャンルも抱えている。
だが、間違いなく言えるのは、我々は
指先一本を見ているのではないという
ことです。あくまでも全体像を見な
ければならない。それが「体育学」で
すし、たとえば体育独自のものは何
かという視点で考えてみると、ひとつ
はやはり、「実践」という部分ですね。
これを研究レベルまで高めていくのは
難しいことではありますが、体育やス
ポーツの独自性を突き詰めていくと、
身体を動かすこと、あるいはそのプロ
セス指導論が重要になってくると思
います。いずれにせよ、その根底には体
育学に関わる者自身、スポーツが好
きであるか、ということ抜きには始
まらないでしょうが…。

来田 私はスポーツの歴史や文化に
関する研究が専門ですが、「あまり
細部に入り過ぎるな。でも思想や哲
学のない分野はいつか自滅してしまう
から、きみたちの研究が(体育学全体

にとつて「大事なんだ」と先生におっしゃっていたことがありますが。それは本当に忘れられない言葉ですね。北川 私がそんなに立派なことを話したとは…驚いたね(笑)。

片岡 いや、いかに北川先生が大きくな存在であるか。皆さんのお話でよく判りました。

研究に向きあうことの難しさと教えることの歓びと

片岡 ところで皆さんの研究分野や日々の大学教育の面白さなども伺ってみたいのですが。

二宮 私はスポーツマーケティングの研究をしています。基本的にはスポーツをしている人の行動を分析し、

そのニーズを把握した上で、スポーツをマーケティングしていく。たとえば都市で市民マラソンが開催された場合、調査に基づきその経済効果・社会効果を分析することで、スポーツを通して地域を活性化できるかを探っています。そういった錚錚研究の面白さを学生に伝えることが私の役目です。もうすぐゼミの学生が学会発表に挑戦するところですが、そこまで頑張る姿を見せてくれるのは嬉しいことですし、指導教員としての自信につながります。

高見 今回の私の研究は、子どもの健康・体力づくりでしょうか。ゼミ生と幼稚園に出かけて行き、体力測定などの調査をしたり、運動能力がバランスよく身に付けられるような仕

掛けを園生活の中に組み込むなど、様々な取り組みを行っています。また、保護者に対して家庭教育やしつけとして身体活動量を増やしたり、よい生活習慣の定着を後押しするような働きかけを進めています。それらの活動を通して、学生の側から私の気づかないような提案をしてくれると、やはり喜びも大きいですね。

来田 私はオリンピックムーブメント史研究です。オリンピック大会というのは、スポーツを通じた国際的・社会的で、なおかつ教育的な運動として素晴らしいものです。しかし、その一方で、女性や人種の観点から特定の人々を排除したり抑圧するよ

うという研究ですが、多くの学生にはすぐには役にも立たないと捉えられがちなんです。しかし、スポーツは学問の対象になるものであり、たとえば一〇〇年後の社会について考えるための道具となり得るものなんです。なぜなら「人間とスポーツを切り離して考えることはできない」から。そのところを授業を通して解つてくると、学生たちからは学んで良かったという声が増えてくる。ただパフォーマンスを上げるだけのものじゃない、そんなスポーツの在り方をこれからも伝えていきたいですね。

長澤 私は実技で体育も教えていますが、たとえばその授業の中で、『自分の予想以上に身体が動いた』

「学生を引き込み、学生自身が興味のある研究を発展できるよう導く。その成果が自信になっている気がします。」

同志社大学
スポーツ健康科学部

二宮 浩彰 教授(博士)

1994年度
体育学研究科博士課程修了

「原理と最新を組み合わせた授業に学生たちが反応する。教育の面白さはそこですね。」



早稲田大学
スポーツ科学学術院
スポーツ科学研究センター所長

矢内 利政 教授(博士)

1986年度 体育学部卒

ていう、彼らの覚醒感はすごいものがある気がするんですね。スポーツの実践を通して、彼らの意識がコロコロと変化する瞬間があるわけです。そこに教員としての醍醐味を感じていますし、そうした授業の面白さと自分の研究、そして学生の興味をどうリンクさせていくべきか。その部分はモヤモヤしたまま今日まで来ているのですが…。

北川 皆さん、四十代でしょ。そういう意味合いでは研究者、教育者として悩む時期でもあるでしょうし、仕事の面白さがわかってくる時期でもある。私自身、三十代の頃は体育学を軽んずるようなところもあって、自分は生理学をやっているんだと思いついて、い込むとした時期がありました。

だが四十代になって社会との接点が増えてくると、体育・スポーツの社会的な位置づけが判るようになり、なんだ、我々はすごく尊敬される分野にいるんだ、と気づくわけです。ぜひ皆さん、もつと自信を持っていただきたいと思えます。

「知」はつながり
やがてかけがえのない「財」となる

片岡 矢内先生はニュージーランドから帰国され、本学の生命システム工学部に赴任されたようですね。

矢内 ええ。それまでアメリカやニュージーランドの大学でバイオメカニクスの授業を担当していましたが、向こうでは学会が推奨する授業が

イドラインがあつたので、どの大学でバイオメカニクスを受講しても、基本的には同じような項目についての知識が(その質や深さも同じというわけではありませんが)得られるようになっていました。ですから教える立場としては、それらの項目をいかにわかりやすく教えるかに工夫を凝らしました。日本では大学教育自体にスタンダードが求められていませので、教科書に沿って進める授業もあれば、最新の研究からの知見を示して学生自身に考えさせる授業もある。これらから学び、世界標準的な知識を紹介しつつ最新の研究からの知見も示すような授業を行うよう取り組んでいます。最新知見に触れて学生が考える姿を見るのが非

常に楽しいですね。

片岡 最後になりましたが、柳原先生。柳原 はい。運動が素早く上手に行われるためにはどのようなメカニズムが重要なのか、また上手な運動を達成するために練習のプロセスでどのようなことが身体の中で行われているのか。そんなことを神経科学、神経生理学的に明らかにしていこうというのが、私の研究です。分子、遺伝子レベルから個体の行動、あるいは脳活動のレベルまで範囲を広げていますが、全体像も見ると、その中の分子的な背景、遺伝的な背景があるのであれば、それらも見ることがあります。研究室には理学部、工学部、教育学部、体育学部の出身者と幅広い学部から院生が集まり、それぞれ異なる



「ギスギスした人間関係に、研究が滞るような空気がなかった。まず、これが素晴らしいと思いました。」

中京大学
スポーツ科学部
スポーツ教育学科学科長
來田 享子 教授(博士)
1997年度
体育学研究科博士課程単位取得退学

実験手法を備えているんですね。幸いスポーツ科学では多彩な手法を使うことができますので、さまざまな角度からアプローチして、ミクロからマクロまで包括的に、俯瞰的に見ることのできる研究者を育てたいと思っています。

北川 今のお話は、細かく見た知見をいかに活用していくか、ということですよ。結局、どんな掘り下げ方にして、研究成果として得られた知見をどう自分なりに咀嚼して、「人間活動に活かしていくか」ということです。その視点が体育学、スポーツ科学の、ある意味、人類にとっていちばん価値あるスタンスではないかと思えます。

片岡 今日はいろいろとお話を伺いながら、師と出会い、良き学びを得て、

中京大学はいい大学だなあと改めて感じました。では最後に、同窓生の方々にメッセージをお願いします。

長澤 十一万人の卒業生の大半が学部つながりでしようから、ぜひ大学院も横の連携が持てる活動なり、組織なりできるといいですね。

柳原 そこは我々、一期生、二期生が頑張らないといけないことかもしれないですね(笑)。卒業後の研修会のようなものでもいいかもしれません。また、小中高の教員の方も多いようですので、体育教育のネットワークを強化していただければと思います。

高見 私もぜひ地域で教員をされている方々と連携を図りたいですね。

矢内 つながりという視点では、同窓生であることを名乗って欲しいので

すね。小さなことですが、それが何かきっかけになる気がします。

來田 それと「知の連携」という部分で、中京大学の卒業生に対して研究助成金などを出していただけたらどうか：そういった制度はありますか？

片岡 今は学生に対する奨学金ぐらいです。研究に対して、ということなら教育後援会の方が良いかもしれません。ぜひ提案したいと思います。

二宮 日本全国で同窓生の方が活躍されていると思います。ネットワークというのは「点」であっても仕方ないので、「線」でつながるよう、そしてそのつながりによって、さらにネットワークが広がっていくことを期待したいですね。

片岡 愛知県に学校部会があり、一六〇〇名ほどの組織になっています。



中京大学校友会本部 本部長
片岡 武司 1971年度 文学部心理学科卒

ですが、最高学府でもそうした組織ができると思います。二〇一三年には東京で全国同窓会を開催予定です。これを機に、ぜひ知の連携を取り合っていたいただきたいと思います。

開学60周年を間近に控え、母校・中京大学の卒業生はすでに11万有余名となっています。

同窓生たちの活躍の場は、全国津々浦々、多種多様に広がっており、それぞれの分野の先駆者として、あるいは伝統の継承者として、己を磨き、つねに次のステップへと挑み続けています。

そうしたチャレンジャーとしての熱き志を支えるのは、母校で培われたタフな精神力であり、同窓たちとの強い絆でもあるようです。



©keiichi suto

トレーニングでも本気で千切る。
僕に負けて悔しかったら強くなればいい。
それだけのこと。



PROFILE

井狩 吉雄 (1973年度 商学部経営学科卒)

中京大学では自転車競技部の主将を務め、日本代表としてカナダのロードレースにも参加。24歳で競輪デビューし、日本選手権競輪で優勝するなど、長年にわたって活躍した。現在、競輪選手現役最年長(61歳)であり、史上最年長優勝も果たす。

「真剣味」に導かれた
現役最年長選手としての道

びわ湖毎日マラソンに出場する東京五輪の金メダリスト、アベビキラ選手をひと目見ようと、近江八幡から自転車で駆けつけ、その時、偶然立ち寄った競輪場で競技用の自転車に試乗したのが、最初の出合いです。それから高校生になって自転車競技を始め、国体やインターハイで表彰台に登るようになって、憧れの中京大学自転車競技部にも入部できました。

大学時代といえば寮生活。一年生の

頃は三日に一度、炊事当番が回ってきましたが、安くて満腹になる献立を考へることしか頭になかった(笑)。でもひとつ屋根の下、絆を固く結びながら切磋琢磨できたおかげで身体を作り込めましたし、競輪学校でも天国のように快適に過ごせました。

デビュー戦では初勝利、完全優勝も果たしましたが、どこかアマチュアの延長線上のような感覚が抜けません。ところがプロ七年目、自転車でヨーロッパ一周を旅した時のこと。アルプス頂上まで一緒に走った五十歳のサイクリストにぶつ千切られた。当時、三十一歳で

したから屈辱的だね。いつきに気合いが入り、この頃から中野浩一選手と同じ土俵で闘えるようになった。と同時に、どうすれば勝てるのか。そんな想いが、より長く走り続けようという気持ちに私を駆り立てました。

競輪というのは、真剣勝負の世界です。弱みを見せれば負ける。まさに「真剣味」という言葉の重さを噛みしめてやってきたことが、現役最年長選手という答えに結びついたと思います。じつは長距離が好きです。峠は苦しいけれど、越えてしまえばなんてことはない。人生もその繰り返し。だからラクをしようとしちゃダメ。たとえ練習でも若い連中が甘い走りを見せたら、本気で千切つてやりますよ(笑)。



後方から追い込むのが得意技。写真は「日本競輪学校35回卒業記念レース」決勝戦。黄色いユニフォームが井狩氏(3着)。1着はミュンヘン五輪代表の松田隆文氏、2着は中野浩一氏(白色1番車)。

SPECIAL
EDITION特集
2

つながり、広がる 母校の「心」と「絆」。

今も生き続ける母校の教え、絆を支えに、多方面で同窓生が活躍しています。

優勝すること以上に
人間修養こそ剣の道として指導

昨年、女子の部でインターハイ(全国高校総体)二連覇を果たすことができました。前年度のチームは、本校剣道部でも史上最強といわれたメンバーでしたから、連覇は無理だろうとささやかれていましたし、生徒たちにしてみれば、かなりの重圧だったと思います。ですが、それを見事はねのけ、大

逆転の末、勝利を掴み取った。生徒たちの精神力に頭の下がる想いです。

とくにスーパースター不在のチームではありましたが、早朝のゴミ拾いや素振りを抜群のチームワークでこなし、根気よく続けてきたことが勝因だと思っています。まさに、努力は嘘をつかない、ということを生徒たちが後輩に示してくれました。

また三学年の担任教員全員が、茨城から新潟まで応援に駆けつけてくれたのには感

動しました。

日本一になることだけを目標

すのではなく、

「あのような生

徒、あのような

チーム、あの一

うな監督に日

本一になっても

「りたい」といっ

てただけるよ

う、日頃から人

間性重視の

チームづくり

を心掛けてきましたが、それを生徒自身が実践してくれたということでしょう。さらにもう一つ、大切にしてください。たとえば、大学時代、亡き恩師である近藤利雄先生にお教えいただいた、真剣味の精神です。これは忘れようもなく、今は私から生徒に指導

しています。「剣道は剣の理法の修練による人間形成の道である」という理念の大切さを痛感しながら、これからも指導していきたいと考えています。

今後、インターハイ三連覇はもちろん、中京大学卒業生としての誇りを胸に高校剣道界の発展と剣道普及のために尽力したいと思っています。



P R O F I L E

塚本 浩一 (1983年度 体育学部武道学科卒)

茨城県立守谷高等学校剣道部監督。途中、転勤をはさみながら延べ21年間、同校剣道部を指導する中で、インターハイ優勝4回、準優勝1回、全国選抜大会優勝1回、準優勝2回という成績を収め、全国屈指の名門剣道部へと導いた。



剣道の魅力を多くの人に伝えながら、剣道の普及にも情熱を注いでいる。

心の成長と、技の成長、著しい
女子の指導に、無限の可能性を感じています。

同朋大学時代、中京大学大学院でも教鞭を執っていたらついった加藤静雄先生のゼミをきつかけに『万葉集』を学ぶようになりました。高校まで勉強は大嫌いでしたが、大学に入って初めて、暗記型ではない学びの楽しさに目覚めましたね(笑)。

そんな加藤先生のご縁で、中京大学大学院文学研究科に進学。佐藤隆先生、菅野雅雄先生に師事し、毎年、ゼミ合宿で先生方や院生、学部生とともに奈良を何度も訪れましたが、後に明日香村に勤務することになるとは思ってもみなかったことです。古代文学の研究者からすれば、明日香村は聖地のようなもの。でもゼミ合宿の印象が強く、はじめは通勤バスに乗るたびに不思議な気持ちでした。

私が研究する『万葉集』には、飛鳥時代から奈良時代にかけて、少なくとも約百三十年間に亘るさまざまなテーマの歌が収められています。編集方針も一貫しておらず、ひとことといえは混沌としています。でも、だからこそ奥深いものがありますし、興味は尽きません。

また、研究を掘り下げていくうち

何のために古典文学を研究するのか。
自分に問いかけながら、発信し続けることが
私の仕事だと思っています。



PROFILE

井上 さやか (1998年度 文学研究科国文学専攻 博士課程満期退学)

専攻は『万葉集』を中心とした日本文学・日本文化。中京大学教養部非常勤講師などを経て、現在「奈良県立万葉文化館」にて主任研究員を務める。『万葉集から見る「世界」』など著作多数。その他、講演活動なども各地で精力的に行っている。

©keiichi suto

に、二三〇〇年、一四〇〇年前の人々も、現代人とあまり変わらない感情を持つていたのだと、古代の人々を身近に感じることもしばしばです。それと同時に、現代日本との相違点にもおもしろさを感じますね。

しかし日々、そうした研究者としての喜びを味わえるのは、今の自分を形づくってくれた院生時代の学びや体験であり、現在、さまざまな活動が

きているのも中京大学からはじまるつながりがあったからこそ。中京大学は、私の原点です。

「万葉文化館」は、『万葉集』を中心とする古代文化をひもとき、学術や美術、あらゆる側面から楽しみ、歴史を学ぶことのできる総合文化拠点です。同窓の皆様にも日本文化胎動の地・奈良県明日香村にある当館を、ぜひ訪ねていただきたいと思っています。



ジャンルを越えた活動も(写真は宮本亜門氏との対談の様子)。

舞台もまた一度きりの真剣勝負 友の教えに今の自分がある

中京大学とは附属高校からの縁です。高校時代は弁論部に入り、一年生の時には、初の全国大会で初優勝した経験があります。しかし大学には弁論部がなく、安村仁志教授（現副学長）に声をかけていただいて「ロシ

ア語友の会」というサークルに入りました。年に一度、ロシア語劇に挑戦したことが、能楽という舞台芸術を目指す出発点になったかもしれません。

この道に進むきっかけは、国立能楽堂が伝承者の養成事業として能楽（三役）研修生を募集していたことです。大学卒業後、高校の非常勤講師として社会科を教え、演劇部の顧問も務めて

いましたが、所詮は自己流。日本の伝統芸能に教えを請うつもりで応募したのが始まりです。

国立能楽堂で正座から立ち居振る舞い、笛、小鼓、大鼓、太鼓、謡に囃子と、能楽のイロハから学び、やがて人間国宝の下掛宝生流ワキ方・宝生閑先生の内弟子として修業させていただきました。

初舞台は平成四年、『枕慈童』という

演目で、つつがな

く舞台を終え、

「無事に済みまし

た」と報告したと

ころ、「無事なこ

となどあるか！」

と師匠の一喝です。

なぜそんな理不

尽なことをいわれ

るのか。当時の私

にはまるでわか

りませんでした

が、自己満足の芸

は芸とはいえま

せん。舞台を踏む

ごとに、その意味

が解るようにな

りました。

無我夢中」と

いいますが、無我

の境地に達して



初舞台から15年、ワキ方が主役となる「張良」の大役を務め上げた。

引き締まる。そんな芸の高みを目指したい。
師匠が登場するだけで、舞台の空気ががらりと変わる。

PROFILE

則久 英志 (1986年度 法学部法律学科卒)

平成2年に国立能楽堂能楽（三役）研修の第三期研修生となり、伝統芸能の道へ。下掛宝生流ワキ方として修業を積み、今では年間80～100と多くの舞台から声が掛かる。明快な語りや謡、きびきびした動きなど演じ手としての評価も高い。

ようやく寸分の隙のない芸になる。この道二十年、まだ年に何回かですが、そんな瞬間も感じられるようになりました。高校生の頃、甲子園に行く野球部の壮行会で、生徒会長だった私は、ただ目の前の原稿を読み上げてしまった。そんなことがあります。「なぜ自分自身の言葉で送り出さなかったのか」と同級生に問われ、初めてやり直しのきかない場面の重さを噛みしめました。

舞台もただ一度きり。形に残るものではありません。お客様にどう感じていただけるか。観た人の心に残るものだからこそ、これからも師匠を目標に、精進を重ねたいと思います。

一つの目標にむかって努力し 耐え抜く力を培った学生時代

鴨川源流の一つ、貴船川周辺は、昔ながらの渓谷美を残す京の奥座敷。その地にあつて、パワースポットとして近年、とくに人気を集める貴船神社を目の前に、当店「ひろや」はあります。

ご存じの方もいらっしゃるでしょう

が、貴船川の清流にしつらえた「川床（かわどこ）」で、瀬音の響きに耳を傾けながら召し上がっていたくお料理は、夏の風物詩として有名です。新緑の五月から蝉しぐれの九月下旬まで、川面をわたる澄んだ空気は、夏の盛りでも肌にひんやりと涼味満点。しかも市街地とは、約一〇℃の温度差があり、日差しを遮る青楓も目に鮮やかに、しばし夏の暑さを忘れて五感で

川床料理を堪能いただけるというのは、当店ならではの極意ともいえるのでしょうか。

そもそも私が遠縁にあたる「ひろや」の主人となりま

したのは、中京大学時代に始めた料理店でのアルバイトがきっかけでした。飲食業に興味を持つようになっていった私に、後継者としてお店をやらなにかと誘っていたのが始まりです。

先々代まで宮内庁御猟官を務め、さらに昭和初期より、叡山電鉄開通を機に創業した、老舗の料理旅館です。歴史あるのれんを守り継いでいくのは、幾つか苦労や忍耐が必要でしたが、学生時代、ハンドボール部に在籍し、一つの目標にむかって進む努力が何事にも耐え抜く力を培ってくれたと思います。また、地方出身者は寮生活を送らねばなりませんでした、厳しく



鮎の塩焼きは塩で川の流れを表現。あしらい一つ、繊細な心配りを忘れない。

豊かな自然に心の安らぎを求めらるお客様に、
最上のくつろぎと明日への活力を与える。それが喜びです。



PROFILE

廣谷 和仁 (1970年度 商学部経営学科卒)

貴船の川床は「ひろや」が最初に始めたといわれ、全国的にも広く知れわたる名料理旅館。その六代目主人として、自ら包丁を握り、伝統を受け継ぎながら新しい料理づくりに余念がない。冬のぼたん鍋も好評で一年中、食通たちで賑わう。

規則正しい生活に耐えたこと。その思い出は今でも強烈に残っています。

さて涼を感じていただきながらも、あくまで主体は料理です。山海の素材、すべて本物にこだわって吟味した一つひとつを、美味しさはもちろん器、季節感…本物の京会席にこだわり丁寧に仕上げる。そんな工夫を凝らした料理に、お客様の感嘆の声が聞かれることが楽しみですし、お客様に「おいしい」と喜んでいただけるよう、これからも腕をふるってまいりますね。

大学時代に培った知識と経験は
かけがえのない財産に

現在「公益財団法人につぼんど真ん中祭り文化財団 専務理事」として働いていますが、今の私があるのは中京大学で学び、人との出会いに恵まれたからだと言っても過言ではありません。会計士をめざして入学したはずが、「YOSAKOIソーラン祭り」に参加したことで、人生が変わっていったのです。

二年次の六月、初めて飛行機に乗り、初めて北海道・札幌を訪れました。「こんな見事なお祭りを僕らと同じ大学生が主催しているなんて」と衝撃を受け、その時に感じた悔しさをバネに「につぼんど真ん中祭り（略称・どまつり）」開催に向かつて動き始めます。

一方、ゼミでは「非営利組織の会計に関する研究」を小泉明先生にご指導いただきました。在学中に培った会計や財務の知識は、現在も大いに役に立っていますし、小泉先生にはお祭りについてもさまざまな形でサポートいただき、今も感謝しています。

その後、一九九九年八月に「どまつり」を開催しようと、卒業式前から資金集めに奔走。しかし、五月時点で集まったのは、目標額一千三百万円に対し、

「人と地域の活性化」「文化の継承と創造」をめざし、
今夏十五回目の「につぼんど真ん中祭り」を開催します。



PROFILE

水野 孝一 (1998年度 商学部商学科卒)

大学在学中に「につぼんど真ん中祭り」の企画を立ち上げ、卒業年の8月に第1回を開催する。年々規模は大きくなり、海外から参加するチームも。近年は200万人前後の観客を動員し、中部を代表するお祭りに成長。2013年には第15回を迎える。

三〇万円にしかすぎませんでした。

そこで当時、東海総研で理事長を務めていた水谷研治先生が中京大学の教授に就任することを知り、「お祭りの経済効果を試算して下さい」と依頼。新聞に「経済効果四〇億円」という記事が掲載されてからはトントン拍子に物事が進みました。

参加二十六チーム、観客動員員三十二万人でスタートした「どまつり」は、第

八回の二〇〇六年には参加二百チー

ム、観客動員員百八万人を超えます。その翌年四月には公益性が認められて財団法人となり、二〇一〇年には総踊りでギネス世界記録(TM)を達成するまでになりました。

徳島の阿波踊り、リオのカーニバルのように、地域に根ざした文化をめざし、今年も八月二十三日〜二十五日(予定)、元気に開催します。



9,481人が参加し、ギネス世界記録™公式認定証が授与された「総踊り」。

つながり広がる 新キャンパス始動！

二〇一四年四月、開学六十周年を迎える母校では、現在、教育研究、学生支援のための環境整備をはじめとする、さまざまな取り組みが進行中です。その一環として、二〇〇九年から整備計画を進めていた名古屋キャンパス教育研究棟（新1号館）、管理研究複合棟（新11号館）がついに完成。より一層、快適に生まれ変わった新名古屋キャンパスをご紹介します。

人が集い、未来をリードする 新たな「知の拠点」として

名古屋キャンパスでは、これまでセンタービルを中心とした校地の西地区を《動の核》として、主に講義棟などの整備を進めてきましたが、二〇〇九年からは、東地区において、図書館や学術ホールなどから成る《知の核》の整備計画に着手。そして、そのアカデミックな飛躍への拠点となる新1号館、新11号館、屋外施設がこのほど誕生しました。

既存の建物と融合させた二つの新棟は、山手通りという地域のランドマークにふさわしく、街並みと美しく調和する洗練された佇まい。内部の設計では、今後アクティブラーニングの導入で、少人数クラス編成が主流となる動きに合わせて、ゼミ室・小教

室も増設しています。

また、太陽光発電システムを導入して、CO₂排出量と電力使用量の削減に取り組むほか、地下水膜ろ過システムによって、地下水も有効活用。環境保全にも前向きなエコキャンパスを目指しています。（豊田キャンパスは二〇〇七年に整備を完了）



新11号館

管理研究複合棟

地上12階、地下1階のタワー棟。事務関係の管理ゾーンと研究室、工学部の一部が入っています。



【正面デザイン】

一九五九年に建築された旧11号館のデザインを低層部に採用。また窓形状や石のフレーム、外壁の色なども踏襲するとともに、内部には旧11号館から陶壁を移転し設置。半世紀以上の歴史を継承する想いを込めました。

【工学部実験棟】

2号館北側には、本年四月に開設した工学部実験・研究棟を新設。地下一階、地上三階建ての棟内には、コンピューター制御高電圧試験装置、電波暗室、プラズマ真空機器、各種工作機械などの設備・施設が整備されています。



新1号館 教育研究棟



地上7階、地下1階の教育研究複合棟です。図書館、学術ホールをはじめ、講義室、コンピュータ演習室、学生ラウンジ、食堂、書店も備え、多彩なニーズに対応します。

【新図書館】

新1号館の一・二階には新図書館を設置。一般閲覧席、個別ブース、PC利用席、コモンスペース、グループ学習席など計四百九十四席を用意。滞在型図書館として、多彩な学習形態にフレキシブルに対応できる図書館となりました。

また書庫エリアには開架・準開架図書約二十三万冊が配置され、図書館付属棟（六号館）との連結によって、収蔵能力も大幅アップ。六号館には東海地区の大学初の自動書庫（約八十万冊）が導入されており、貸出もスピーディです。



【清明ホール(学術ホール)】

三・四階には、五百名収容の学術ホール「清明ホール」が誕生。ステージに向かって扇状にデザインされた豪華なホールで、ステージには大型スクリーンを設置。学会や公開講座、シンポジウムの他、国際会議にも対応できる施設として、同時通訳室も備えています。

また各椅子には、A3サイズ対応の収納式机を設置。さらに均一で明瞭な音を伝える音響設備を採用するなど、「知の核」の中心施設としてふさわしい本格的なホールとなっています。



屋外施設、その他

開放的なラウンジスペース、あるいはバリアフリーや歩車分離設計など、滞在型キャンパスとして快適に過ごせる工夫を随所に施しました。



セントラルプラザ

興正寺公園に隣接する地下駐車場の上を学生広場として有効活用。床にウッドデッキを採用し、緑化を図って憩いのスペースにしつらえました。センタービルから新1号館、2号館への動線空間としても利用されています。



アトリウム&空中歩廊

新1号館には、地域に開かれた開放空間として、ガラスを多用した吹き抜けのアトリウムを設置。またセンタービル、新1号館、新11号館を空中の渡り廊下で結び、雨天時も傘をささず移動できるよう配慮しています。

…同窓生2名がメダル獲得!…

2012年7月27日の開会式から17日間にわたり熱戦を繰り広げた第30回夏季オリンピック・ロンドン大会。日本は史上最多38個のメダルを手に入れましたが、その中には中京大学の同窓生2人のメダルも輝いていました。ハンマー投げの室伏選手とバタフライ200m、400mメドレーリレーの松田選手の活躍を中心に紹介します。



二〇一二年七月
四日(水)、ロンドン
オリンピック陸上の
四〇〇m障害に出
場する中村明彦選
手(体育学部四年)、四×一〇〇m
リレーの市川華菜選手(同四年)、棒高
跳びの山本聖途選手(同三年)、そして
パラリンピックで二〇〇mと四〇〇m、
四×一〇〇mリレーの三種目に出る佐
藤圭太選手(同三年)の壮行会が名古屋
屋キャンパスのガレリアで開かれました。
四人の現役学生がオリンピックとパ
ラリンピックに選出されたのは、中京大
学でも過去最多を誇ります。また、
ハンマー投げの室伏広治選手(体育学部
一九九六年度卒)と競泳バタフライ
二〇〇m、四×
一〇〇mメドレー
リレーの松田丈
志選手(体育学
部二〇〇六年
度卒)の中京大
学同窓生二人
もオリンピック
出場権を得て、
ロンドンへと飛
び立ちました。



銅メダルに輝いた 四度目のオリンピック



男子ハンマー投げ決勝 3回目の投てきをする室伏広治=五輪スタジアムで。(中日新聞提供)

一昨年夏の世界選手権男子ハンマー
投げで、大会最年長の金メダリストと
なった室伏広治選手。日本代表として
二〇〇〇年のシドニー、〇四年のアテネ、
〇八年の北京に続き、四回目となるオ
リンピックに出場。アテネ大会では金メ
ダルを獲得し、ロンドン大会でもメダル
獲得の期待が高まっています。
ロンドンオリンピック第八日、陸上第一
日目の八月三日、男子ハンマー投げの予
選A組に入った室伏選手。予選は二組
あり、三回の試技で78m以上を投げれ
ば決勝進出です。室伏選手は一投目に

77m18、二投目に
78m48を投げ、全
体の二位で予選
を突破。
迎えた決勝戦
は八月五日(日本
時間六日)。室伏
選手の一投目はファウル、二投目78m
14、三投目で今季の自己ベスト78m71
をマーク。その後、記録は伸びず、80m
59のバルシユ選手(ハンガリー)、79m36の
コズムス選手(スロベニア)に続き、室伏選
手は銅メダルを手に入れました。

室伏 広治

Koji Murofushi

2001年度中京大学大学院体育
学研究科博士課程修了。中京大
学スポーツ科学部准教授。自己ベ
ストは84m86(アジア記録)。
2004年アテネ金メダリスト。

三十七歳での挑戦とメダル獲得は、日
本のオリンピック史にも、投てき界にも
大きな足跡を残す結果となりました。

●●●●●
二大会連続の銅メダルと
メドレーリレーで銀メダル
●●●●●

ロンドンオリンピック第四日目の七月三十日、男子競泳二〇〇mバタフライの予選がおこなわれました。〇八年の北京大会で銅、その後二度の世界選手権では三位、二位という結果を持つ松田丈志選手は、予選第四組で好スタートを切りました。全五組の予選が終わり、全体八位で予選を通過。

準決勝は同日夜(日本時間三十一日)、全一組でおこなわれ、松田選手は第一組に登場。一五〇mで二位となり、そ

のままフィニッシュしてタイム1分54秒25で決勝進出。

翌日の決勝戦では五〇mを三位、二〇〇mを四位、一五〇mは二位で通過し、激しい戦いを繰り広げました。結果、1分53秒21のタイムでゴールし、銅メダルを獲得。

また、松田選手は男子四×一〇〇mメドレーリレーの第三泳者としても出場し、日本競泳史上初の銀メダル獲得でも活躍しました。

松田 丈志

Takeshi Matsuda

2008年度中京大学大学院体育学研究科修士課程修了。200mバタフライの自己ベスト1分52秒97(アジア記録)。400mと800mの自由形日本記録も保持。



男子200mバタフライで3位に入り、銅メダルを手にする松田丈志=水泳センターで。(中日新聞提供)

同窓会から激励金を贈呈

昨年七月四日(水)に開催された壮行会に先立って、理事長室にて四選手に同窓会から激励金が贈呈されました。選手一人ひとりの紹介とともに、四人の現役学生がオリンピックとパラリンピックに選出されたのは中京大学で過去最多であることが報告された後、大学役員が見守る中、小川理事長が一人ひとりに応援の言葉をかけながら激励金を手渡しました。



感謝しながら激励金を受け取る選手たち。

●●●●●
陸上3種目に在学生が出場し、
世界の速さ・高さを実感
●●●●●

在学生三人もオリンピック・スタジアムという大舞台で健闘しました。

八月三日、男子四〇〇mハードル予選に出場した中村明彦選手は失格。八日、男子棒高跳びの予選で山本聖途選手は5m35に三回失敗、記録なしに終わり、決勝に進むことができませんでした。九日(日本時間十日)、女子四×一〇〇mリレーの第二走者として出場した市川華菜選手はバトンパスに乱れが生じ、44秒25で予選二組



体育学部
体育科学科(4年)
中村 明彦さん



体育学部
体育科学科(3年)
山本 聖途さん



体育学部
体育科学科(4年)
市川 華菜さん



体育学部
健康科学科(3年)
佐藤 圭太さん

最下位という結果で涙をのみました。そして八月二十九日から九月九日まで開催されたパラリンピックで陸上3種目に出場した佐藤圭太選手は初の国際舞台に、惜しくもメダル獲得にまでは至りませんでした。

四選手とも「今回のことはしっかりと受け止め、世界で戦えるような今までにいない選手になりたい」(中村選手)など、今回の悔しさをバネに、次の目標に向かって走り出しています。

※学部・学年はロンドンオリンピック、パラリンピック出場時

篠島離宮 真砂 悠々庵



愛知の離島で
くつろぎのひとつを
お過ごし下さい。

鈴木 敬二(1971年度 法学部法律学科卒)
篠島離宮 真砂 悠々庵 オーナー

店舗情報

愛知県知多郡南知多町篠島弁財6-2

☎0569-67-2740

チェックイン 15:00~/チェックアウト 10:00

虹・星・白砂・高砂など個性的な八室と、貸切風呂にもなるうぐいすの湯(1階)・万景の湯(3階)、会席料理を用意してお待ちしています。

ロビーから客室

浴室まで畳が敷かれ

波音をBGMに眠る宿

学

生時代にユースホテル部で各地を旅した経験から、大学を卒業して二年後に民宿を始めました。平成十七年には、目の前に海水浴場が広がる現在地に総客室数八室の旅館として移転オープン。三室は露天風呂付きになっており、浴室に至るまでほぼ全館畳敷きの空間が自慢で、島で穫れた魚介をふんだんに使用したこだわりの会席料理でおもてなしをしています。「日本の夕陽百選」に選ばれた方

葉の丘から眺める夕陽、冬の晴れた日に望める富士山、釣りやハイキングなど、篠島ならではの景色やレジャーをお楽しみいただいた後は、伊勢神宮に奉納されるほどおいしい鯛や、春に漁が解禁になるしらす、蛸などを堪能いただけます。

ご夫婦で、ご家族で、ぜひ一度、足を お運び下さい。



力の名店

全国で活躍する母校の同窓生たちですが、自分の店を持ち、お客様との一期一会の出会いに学生時代に培った真剣味の精神を注ぎながら頑張っている方が大勢いらっしゃいます。そんな同窓生オーナーのお店をご紹介します。

メガネルック (株式会社アイルック)



近視や遠視、
遠近両用など、
眼鏡は装着感が
大切です。

西尾 政治(1973年度 法学部法律学科卒)
株式会社アイルック 代表取締役

店舗情報

愛知県名古屋市中区田幡2-12-5 アイワポレール城見1F

☎052-915-8115 年中無休 10:30~19:30

店舗/黒川本店・大我麻店・大曾根店・ルックコンタクト
大曾根店・吉粋・大須店

創業33年目を迎え、スタッフの臨床経験や技術力は着実に向上。フィッティングの具合を直すと、モノの見え方も変わってきますよ。

豊富な品揃えや

視力検査はもちろん

フィッティングが自慢!

一

九八〇年に二店舗から始めた眼鏡店です。社会人になってから、大学時代に学んだ「真剣味」を実感・実践し、独立創業。J O A 認定眼鏡士、認定補聴器技能士の資格も取得し、今ではコンタクトレンズを取り扱う店舗等も含め、愛知県内に五店、インターネット上に「メガネルック online shop」も展開するまでになりました。

ネット販売と名古屋・大須に店を

構える「吉粋(キツスイ)」では、サンングラスに比重を置いていきます。店舗ではお客様としっかりコミュニケーションを図りながら、最適な眼鏡を提供。特に、フィッティング技術には自信があります。私自身、マラソンを走る際にはサンングラスをしますが、きちんとフィッティングがしているとかけ心地が良く、足取りも軽くなりますよ。



飲食店

八百善 多志満



100種類の釜飯で、
100年続く和食店を
めざしています！
どうぞ来店ください

田島 寛俊(1990年度 経済学部経済学科卒)
八百善 多志満 代表取締役社長(四代目)

店舗情報

名古屋市瑞穂区雁道町6丁目14
(地下鉄瑞穂区役所駅徒歩約10分)
☎052-881-4736 無休
11:00~14:00/17:00~22:00(要予約)

名古屋市内なら1名様~マイクロバス送迎します。
(同窓生の方のみ、市外でも承ります)

素材、技、心尽くしの

三拍子が揃う老舗の和食店

こだわりの釜飯にグルメも感服

祖

父の代から続く店で、そろそろ創業八十年になります。

私は昨年、その四代目を継ぎました。

十年前から劇的に美味しい「釜飯」を看板

メニューにし

ようと、試

行錯誤を重

ね、これまで

三十一種類

の釜飯が完

成しました。

成しました。

蟹や鰻といった定番から、イタリアン

釜飯やあん肝など、ご注文に合わせ

て一人前ずつ目の前で炊き上げ、

アツアツを頬張っていただく。また濃

厚なすっぱんの出汁を隠し味に、食

材選びにも徹底的にこだわり尽く

してきましたが、当店の釜飯に感動

し、ファンになっていただけるお客様

も随分増えました。

さて、大学を卒業して二十年以上

経ちましたが、仕入れ先からお客様

まで、今、私の身近なところで同窓の

輪が広がっています。こうしたつなが

りに支えられ、また自分の母校を誇

らしく思えることはOBとして有

難いことですね。

魅せるひと、魅

オーナーは **同窓生**

呉服店

⊕なかしま
(丸十なかしま)



おしゃれを楽しみ、
いつも笑顔になれる
居心地の良い空間を
提供したいですね

中島 理恵(1982年度 文学部国文学科卒)
有限会社 丸十なかしま

店舗情報

岐阜県下呂市金山町大般渡508
(JR高山線ひだ金山駅徒歩約3分)
☎0576-32-2169 日曜定休
9:00~18:00

“まごころで奉仕する”をモットーに、常にお客様の目線に立ち、お客様のTPOに合わせたご提案を心がけています。

ソフトな着心地の洋品から

京都仕立の呉服まで、お客様に

ご満足いただける品物を提供

昭

和の初期、祖母がこの地で小

私で三代目。まごころで奉仕する

をモットーに、体と環境に優しい天然

素材を中心とした洋品呉服を商

ています。また、「手づくり工房ぎや

らり〜」としてお客様の手づくり作

品を飾り、ささやかながら地域交流

の場として提供しています。お客様

とのコミュニケーションを楽しみつつ、

お勧めした商品が好評だったと歓

んでいた瞬間、醍醐味を感じま

すね。おもて

なしの心が

伝わったよう

な、嬉しい気

持ちになり

ます。学生時

代は書道部

に在籍し、礼

儀や挨拶、忍

耐力を養っていただきましたが、その

学びが大いに生かされている気がし

ます。また顧問の樽本先生の言葉

は私の心の糧であり、卒業してから

も支えていただきました。そんな母

校との交流を続けられる同窓会で

あつて欲しいと思います。



Coming Day

懐かしい母校の大学祭を卒業生にも開放しようと
そしてそのご家族と今では大きな交流に発展しています。



船橋 タ子さん(2000年度 文学部英文学科卒)

名古屋キャンパス Nagoya Campus

年に一度
仲間との再会を楽しむ
かけがえのない場に

ホームカミングデーで母校を訪れるのは、今年で五年目になります。もともと同じ学部出身の友人が同窓会通信の記事を見て、「面白そうじゃない？」と声をかけてくれたのが参加のきっかけ。以来、一人、二人と仲間が増え、今ではプチ同窓会のような感覚で、毎回五〜九名ほどのメンバー



が顔を揃えるようになりました。いつもプレジール（学食）で集まり、とりとめもなくおしゃべりをしていると、学生時代に戻った気分になります。ただ妊婦さんになっていたり、赤ちゃん連れだったり。一年ごとにみんな状況が変わっていて、家族が増えていくのが最近の楽しみ。私自身も最初はお兄ちゃん一人だったのが、双子を産んで三人のお母さんになり、それからは主人にも参加してもらおうようになりました。ありがたいですね。もし嫌だといわれたら、泣いてしまうかもしれない(笑)。でも私にとって、今ではそのくらい大切なイベントなんです。学生時代はサークルの秋旅行と重なって四年間、一度も大学祭に参加できずにいましたが、改めていま、その楽しさを満喫しています。同窓生の皆さん、卒業してからでも母校に元気をもらえます。ぜひ参加されるといいですよ。

学祭を歩いて

名古屋キャンパス

「創」をテーマに
学生、参加者ともに
最高の思い出を

吹奏楽団の演奏とコスプレ大賞で、華々しく幕をあげた第五十九回中京大学祭。今回はアンケートをもとに地域や卒業生、現役学生、教職員らが一体となって創り上げるイベントを目指し、クイズラリーやビジネスコンテスト、トレジャーハントなど参加型の企画が満載。またそれぞれ工夫を凝らしたB級グルメのブースも多彩に、来場者の思い出に残る熱い盛り上がりを見せました。



第10回 ホームカミングデー

2012.11.3

Home

1998年、同窓会設立40周年を迎えたこの年に、「第1回 ホームカミングデー」が始まりました。学生やOB・OG、



朝日 俊晴さん(1991年度 商学部経営学科卒)

豊田キャンパス Toyota Campus

**会場を包み込む熱気と
学生たちのパワーに
元気をもらいました**

ホームカミングデーには、家族を連れて毎年のように参加しています。在学中は商学部在籍していたため、豊田キャンパスにはあまり縁がありませんでした。ただ、八事の卒業生でも豊田に会場できると知り、以来、自宅から近くで車で来られることに毎回足を運んでいます。

私たち家族にとっては、すっかり秋のレジャーの定番ですね。

毎年ここに来ると学生さんたちから元気をもらえる気がします。私が学生の頃も焼きそばの模擬店を出して盛り上がっていたのを思い出しますね。ただ、最近の学生さんは少し大人しいでしょうか。私たちの時には、どの模擬店も必死に呼び込み合戦をしていて、お客さんを引っ張り合う状態でしたから(笑)。

今日は五歳の息子も焼きそばを食べたり、大好きなトミカを買ったりして大喜びでした。近頃は、スポーツ選手の活躍で大学の認知度もぐっと上がりましたが、現在息子を体操クラブに通わせているので、もしスポーツが得意なら、母校に入って活躍してもらいたいですね。



学祭を歩いて

豊田キャンパス

爽やかな秋晴れの下
陽気な笑顔があふれる
楽しいひと時を満喫

赤や黄色に木々が色づく晩秋のキャンパス内で開催された第十九回中京大学とよた祭。「『陽』『育もう！心と心でつながる陽』をテーマに、学生たちによる模擬店の出店のほか、ライブ、ゲーム大会など多彩な催しが行われました。目玉イベントのひとつであるアイスアリーナ見学では、話題の施設を一目見ようと多くの参加者が詰めかけ、リンクを颯爽と滑る選手の姿に拍手が湧いていました。





第9回

名刺交換会



社会へ出たからこそ実感できる。母校の温もり、同窓の絆の強さ。

自動車、建設、金融、旅行、マスコミ、教育など、あらゆる業界から同窓生を集める、中京大学同窓会名刺交換会。9回目となった今回は、総勢約450名の参加者のうち6割以上が40代未満と、若い世代が多く集った賑やかなイベントになりました。

世界へ、宇宙へ
人間の持てる力の素晴らしさ

時折、烈しく雪の降りしきる二〇一三年一月二十六日(土)、今年で第九回目となる名刺交換会が名古屋観光ホテル・那古の間にて開催されました。

恒例となった第一部・講演会には、宇宙飛行士の山崎直子氏を迎え、「宇宙・人・夢をつなぐ」をテーマに一時間の生活を中心に「講演いただきました」。

九九年より宇宙飛行士としての訓練を開始。成功も失敗も、大小関係なく地道に積み重ねていく。そんな「質より量」ともいえる経験値こそ、宇宙への挑戦者に最も必要であり、一度の失敗で挫けない精神力が鍛えられた、と山崎氏。しかしながら急降下する飛行機での無重力体験、厳寒のロシアで三日間、生き延びるサバイバル訓練と、



小柄な身体なのに過酷な訓練を乗り越えるバイタリテイが秘められているのか。やがて訓練を始めて十一年、やつと旅立った宇宙へは、わずか八分三十秒で到着。三日目には宇宙ステーションに合流したそうです。

「それはもうあつけないぐらいでしたが、チームの仲間、地上で支えるスタッフ、家族、大勢の人の助けがあつて、夢を実現できた。すべての生命の始まりでもある宇宙でその有難みを感じました」とのこと。彼女の類い稀な体験を通して語られる一つひとつに驚き、無限の宇宙へ想いを馳せたひとときでした。

第二部・パーティ会場へと移動すると、早速、功労者表彰が行われました。今回はロンドン五輪で活躍、共にメダルの荣誉に輝いた室伏広治選手、松田丈志選手を表彰。同窓会の誇りとして賞状と金一封が授与されました。続いて四十五年間、岩手県支部長を務められた中村卓哉さん(六三年度体育卒)も壇





上へ。川岸信一会長から「長きに亘る同窓会への「尽力に、深く感謝の意を表します」と賞状が授与されました。中村さんからは「学生時代の恩返しのため、つもりで務めさせていただきます。また東日本大震災の時には、多くの皆様を激励していただき、本当に温かく素晴らしい大学を卒業できたこと、そして同窓の絆に感動しました」と嬉しいコメントをいただきました。

川岸会長からは、「五十五周年という同窓会の歴史の中で培ったつながりを、さらに大きく広げて欲しい」との想いが伝えられ、また「来賓の小川英次理事長は、「不確定の時代を乗り越えるのは、人間教育を根本に据えた建学の精神である」と話されました。続いてよく通る声でご挨拶された北川薫学長は、新キャンパス構想を披露。ユーモアを交えたお話しぶりに会場は沸き上がりました。

学び、つながりを求めて、若い世代がこぞって参加



今年には梅村学園創立九十周年、さらには来年度には開学六十周年を迎える新生中京大学にご期待ください」と梅村清英理事・副会長の音頭で乾杯が行われると、いよいよ名刺交換会の始まりです。冒頭、神田憲次衆議院議員（八五年度文学卒八七年度法学研究科修了）が会場に駆けつけご挨拶。国政に乗り出した同窓に、温かい拍手が送られました。

今回、二〇〜四〇代が参加者の六十五%を占めたというだけあって、会場内は例年にも増して熱気に溢れています。「証券会社に勤めています。他の業種を知るいいチャンスですし、自分の世界を広げたくて参加しました」とおっしゃるのは戸田美結さん（二一年度法律卒）。いかにも初々しい社会人一年生です。

藤原大輝さん、渡部隆寛さん（とも

に一〇年度現代社会卒）は同級生。「初参加です。人数も多く会場の雰囲気飲まれてしまいました。これから頑張る十名以上には声を掛けたいです（藤原さん）」「めったに聞けない宇宙飛行士の講演にも参加でき今日は収穫大です。視野も広がったように思います（渡部さん）」

「今回は地域貢献のためのヒントを見つけに来ました。学生時代は経験できなかった交流の場だけに、とても新鮮です」とは山本麻弓さん（九五年度英文卒）。

税理士の加藤厚さん（九一年度経済卒）は、「同窓のご縁でビジネスチャンスが広がることもしばしば。こうした母校のネットワークは心強いですね」

森下環さん（九五年度心理卒）は、「あつという間に名刺が無くなってしまいました。来年はもっと沢山、用意しなきゃ」とのこと。着物姿の細川美絵さん（九八年度健康教育卒）は「私にとって



まさされる大切な日です」とにこり。

あちこちで広がる同窓の輪、世代を超えた活発な交流を眺めて、中学校の教頭先生、中村拓夫さん（八〇年体育卒）いわく、「先輩に与えてもらったから、今度は自分が後輩に返していく。こうしたつながっていくこそ、中京パワーなんです」と熱く語っていただきました。

さて、そんな会場の一幕で列を成していたのが、室伏選手（中京大学准教授）との名刺交換。一枚一枚、丁寧に名刺を受け取り、笑顔で撮影に応じる室伏選手の誠実な人柄が伝わります。また、日の丸を背負ったアスリートたちを擁する本学ならではの光景といえるでしょう。

盛り上がりを見せた名刺交換会も終了時間が迫り、中締めとして片岡武司校友会本部長が登場。皆で学歌斉唱後、「中京大学同窓会、そして母校の大きな発展を祈ってフレ、フレ」との片岡本部長の力強いエールに一同、大拍手。今回も大成功のうちに閉会となりました。

役員紹介 | 会長・顧問・副会長

副会長

高橋 繁浩

1983年度 体育学部
1986年度 体育学研究科
みよし市



副会長

梅村 清英

1990年度 経済学部
1995年度 経済学研究科
名古屋市



会長



川岸 信一

1965年度 体育学部 尾張旭市
住所・連絡先:
校友会本部へご連絡ください

副会長

瀧 剛志

1993年度 情報科学科部
1998年度 情報科学研究科
みよし市



副会長

竹尾 悟

1969年度
文学部
小牧市



副会長

寺尾 悟

1997年度
社会学部
豊田市



副会長

和田 政彦

1969年度
法学部
松阪市



顧問

土方 清

1968年度
商学部
桑名市



副会長

森田 大延

1997年度
経営学部
名古屋市



副会長

佐藤 賢

1974年度
体育学部
春日井市



顧問

今井 宏司

1961年度
体育学部
岡崎市



東三河支部長

小栗 俊朗

1979年度
体育学部
豊橋市
0532-47-9064



尾張支部長

塚本 義光

1978年度
体育学部
稲沢市
0587-21-2280



愛知県
支部長

西三河支部長

伊澤 裕司

1977年度
文学部
名古屋市
052-684-0774



知多支部長

三輪 りな子

1973年度
体育学部
東海市
052-603-0306



名古屋支部長

安江 明康

1978年度
体育学部
春日井市
0568-85-2584



..... Special Report

各支部からのたより

北海道
支部長(新)

相互の連携とブロック活動の充実

矢藤 良雄 1969年度 体育学部 石狩市 0133-62-3165

昭和44年に北海道支部が発足して以来、早くも43年が経過しました。この間、多くの先輩方のご尽力によって、500名の会員を有する大きな組織になりました。昨年度は「梅村杯ゴルフコンペ」「総会」「懇親会」「学校部会会議」等を終え、今後も相互の連携を図りながら組織の活性化に努めたいと思います。



山形県
支部長

中京大学の発展と活躍

石川 宏 1976年度 体育学部 米沢市 0238-23-1982

母校中京大学の「文化」「芸術」「スポーツ」等、万般の幅広い分野にわたる発展と活躍を見るにつけ、誠に喜ばしく、卒業生であることを誇りに思っている次第です。また、同時に山形県支部長として、その責務の重大さに身の引き締まる思いを抱いているところです。今後とも皆様のご指導ご協力のほどお願い申し上げます。



青森県
支部長

自己紹介

井上 義則 1964年度 体育学部 五所川原市 0173-34-4976

母校の卒業生県内第1号ということで支部長を仰せつかりましたが、何をしたということもなく40年が過ぎてしまいました。昭和40年から平成14年まで県内の中学校で教員生活を送り、現在、県陸協のスタッフとして競技会の運営にあたるとともに、日本陸上競技連盟の検定員として公認競技場の検定をやっています。



福島県
支部長

故郷 福島の再生を願って

山内 光樹 1975年度 体育学部 田村郡 0247-72-5670

千年に一度という巨大地震は、人々の営みを寸断し、私たちの生活を一変させてしまいました。未だ仮説住宅での生活を強いられている方々もたくさんおられますが、全国から寄せられた善意や励ましにより、復興に向けて皆、着実に歩み始めています。私も故郷、福島の再生に全力で取り組みたいと考えています。



岩手県
支部長(新)

ご苦勞様でした、そして感謝

田村 雄孝 1969年度 体育学部 盛岡市 019-659-2445

中村卓哉先生には、40数年もの長きにわたり、支部長としてご活躍いただきました。「ご苦勞様でした。ありがとうございます。」などと、とてもひとことでは言い尽くせませんが、県内卒業生を代表してご慰勞と深く感謝を申し上げます。また、後任として支部長を引き継ぐ田村です。皆様、ご指導のほどよろしく申し上げます。



茨城県
支部長

祝!道場創立10周年

塚本 浩一 1983年度 体育学部 守谷市 090-3347-2754

平成14年4月に全日本剣道道場連盟に登録し、金井信彦君(91年度卒・教士七段)が館長を務める「俊水館道場」が創立10周年を迎えました。現在、中学生から保育園まで、約40名の門下生が「何苦礎」の道場訓を胸に、熱心に活動しています。俊水館道場は今後も礼儀正しく遅い子どもを育てていくことでしょう。



宮城県
支部長

母校のご縁に励まされています

千葉 道博 1972年度 体育学部 石巻市 0225-76-2047

東日本大震災から早くも2年が過ぎ、支部同窓生も復興に取り組んでいるところです。そんな中、仙台市で開催された「全日本体操インカレ」では後輩たちが大活躍してくれました。また、オリンピックのハンマー投げで銅メダルの室伏選手らが石巻市の門脇中学校を訪問。そうした活動にも大いに励まされています。



栃木県
支部長

同窓会を定期的に開催

渡辺 成美 1984年度 体育学部 小山市 0285-38-0705

栃木県支部会員数は、現在187名です。職業、年齢、地域も異なりますが、同窓生の皆さん、それぞれに頑張っておられます。昨年は母校校友会本部のご協力のもと、久々に栃木県支部同窓会を開催することができました。これを機に、定期的な同窓会の開催を計画したいと思います。



秋田県
支部長

魅力ある支部同窓会に

佐々木 信吉 1969年度 体育学部 秋田市 018-834-4722

一昨年に支部同窓会を開催しましたが、残念ながらそれ以降、なかなか同窓会を開催するに至っておりません。全国的に見れば卒業生が少ない支部ではありますが、他の支部には負けない支部として、これから盛り上げていきたいと思っています。ご声援のほどよろしくお願い致します。



新潟県
支部長

新潟も頑張っています

瀬野 正英 1973年度 体育学部 新潟市 025-247-7412

今年には本県にて高校総体が開催されました。大会結果も良く、一同喜んでいました。地理的にはなかなか同窓生が顔を合わせることも難しい県ではありますが、大会や運営に携わる同窓生も多く、母校を中心とするつながりの有難みや力強さを改めて実感できる良い機会となり、感謝しています。本当にありがとうございました。



群馬県
支部長

「支部同窓会」開催決定!

三川 高 1970年度 体育学部 前橋市 027-221-3865

平成25年10月に群馬県支部同窓会を高崎で開催することとなりました。現在、その準備を始めていますが、会員の宛先不明者が100人近くおります。同級生・先輩・後輩等、ご存じの方は下記までお知らせください。
電話(携帯)090-1030-1449 FAX 027-221-3865
メール taka43mikawa@yahoo.co.jp(支部長三川まで)



山梨県
支部長

ステップアップに期待!

山下 正人 1971年度 体育学部 中巨摩郡 055-275-3705

年々、会員数が増え、学校部会や警察部会も整って当支部も充実してきました。会員が校長を務める日本航空高等学校が高校サッカー、高校バレー(男子)の全国大会に出場しました。各県で指導されている先生方のチームと対戦することになったら、互いに中京魂を発揮し、力一杯戦って母校の名を高めていただきたいと思います。



埼玉県
支部長

各界で活躍する会員を紹介

高木 英朗 1969年度 体育学部 北本市 048-542-8303

企業や教育界等、幅広い分野で多くの同窓生が活躍されています。なかでも岡野榮二氏(69年度体育卒)は上尾市教育委員会教育長として、教育全般にわたり活躍、貢献されています。皆様も近況、情報等を是非お知らせ下さい。さらに平成25年の秋頃には同窓会を開催予定です。多数のご参加をお待ちしています。



長野県
支部長

「支部同窓会」開催される

長谷川 浩一 1979年度 体育学部 上伊那郡 0265-85-2534

12月8日(土)、松本市ホテルモンターニュにおいて支部同窓会を開催しました。大学から高橋繁浩副会長をはじめ8名の先生方と、中部地区支部長にもご参加いただいて、30数名の同窓生たちとともに旧交を温めました。お互いに学生時代の思い出を語り合い、楽しい会となりました。ありがとうございました。



千葉県
支部長

支部総会の成功に向けて!

猿田 明 1972年度 体育学部 四街道市 043-422-0620

最近、千葉県においても若い同窓生たちが増加しています。日頃は連絡など、なかなか取り合うこともできませんが、支部総会の開催を2年後に予定しています。この機会に県内各地の同窓生と再会し、親交を深めたいと思っています。ぜひ盛大な会となりますよう、同窓生の皆様、ご協力のほどお願い申し上げます。



富山県
支部長

学生野球の雄「中京」に新しい風

野田 智 1978年度 法学部 射水市 0766-56-2215

2012年8月、富山県で大学女子野球大会が開催され、「中京大学女子軟式野球サークル」が出場。準々決勝で今回優勝した東京女子体育大学に惜敗しましたが、戦前・戦後の学生野球をリードしてきた「中京」に「女子野球」という新しい風が芽生えてきたようです。地元の縁でこれからも「中京女子野球」を応援します。



東京都
支部長

2013年全国同窓会でお会いしましょう

加藤 隆司 1982年度 体育学部 江戸川区 090-1735-5703

平成25年の東京国体に合わせて、全国同窓会が開催されます。世界一高いタワー、スカイツリーも完成し、賑わう東京へ是非おいで下さい。国体に合わせての開催ではありますが、体育学部だけでなく、全学部の卒業生の皆様が集う大きな会にできたらと思っています。より多くの方々のご参加をお待ちしております。



石川県
支部長

学校部会を機に支部同窓会の充実を

岩下 良 1969年度 体育学部 金沢市 076-298-3122

今年、昨年初めて開催できた支部同窓会の継続を図っていくと、これまで毎年開催してきた学校部会に、支部一般会員の参加を呼びかけて「第8回学校部会」を開催しました。今後もこの学校部会を核に広く働きかけながら、支部同窓会のさらなる充実と一層の発展を図っていききたいと思います。



神奈川県
支部長

30年の時の流れを...

諸石 晃 1982年度 体育学部 座間市 046-251-8887

寄る年波には勝てず、健診の結果に驚く昨今、同じ寮で過ごした県内の同窓生から電話があり、「卒業から30年、そろそろ危ないやつも出てきそうなので、元気うちに同窓会をやろう」と勤労感謝の日と同窓会を行いました。名古屋・豊田の学舎にも足を運び、30年の時の流れをしみじみと感じました。



京都府
支部長

「絆」を大事にし、良い出会いを!

木村 義二 1972年度 体育学部 南丹市 0771-62-3370

平成24年6月30日に総会・懇親会を開催しました。市長、府議員、市議員、教師、貴船の料亭主人、割烹店、体操教室、漫画家、市町公務員など各分野で同窓生が活躍しており、「絆」を改めて大事にしたいと思いました。また、洛南高校で長く頑張ってきた新野・中島両先生が退職されました。お疲れ様でした。



福井県
支部長

ゴルフができる方、集まろう!

坂下 貞雄 1967年度 体育学部 吉田郡 0776-61-0860

支部として活発な活動はありませんが、校友会本部のご協力のもと、年1回、同窓会を開催し、母校の発展ぶりを誇らしく思っています。

今年は12月7日が開催日のため、雪と寒さが心配ですが、健康維持を願って親善ゴルフコンペを計画中です。一人でも多くの方にご参加いただいて親睦を深めたいと思っています。



大阪府
支部長(新)

大阪支部、再発足しました

岡本 博 1968年度 体育学部 大阪市 06-6340-3031

11月17日、大阪支部独自で18年ぶりに支部同窓会・懇親会を開催しました。多くの方にご参加いただき同窓生の絆を改めて感じました。新部長に選出いただき、支部活性化に努力していきたいと思っています。また毎年開催の要望も多く、平成25年には11月9日(土)6時~新大阪ワシントンプラザホテルで開催予定です。



静岡県
支部長

5000人を超すネットワークに

橋本 美智夫 1967年度 体育学部 静岡市 054-262-9031

平成24年度末で本県同窓生は5000人(就職関係約300人)を超えました。昨今の経済不況のなか、同窓生が力強く生きていることを嬉しく思います。4月には県学校部会総会を静岡市で開催、新学校部長(藤枝市:柳本氏)を選出。また7月には清水区で静岡市地区会、11月は女子部会の組織づくりを行いました。



奈良県
支部長

中国との架け橋として

高見 喬宏 1967年度 体育学部 宇陀市0745-82-3426

大和経済振興事業共同組合理事長の尾崎峻さんを紹介し、45年に商学部を卒業後、未知の世界である測量設計事務所に就職されたのを契機に地道に努力され、幸福測量設計、土地家屋調査士、行政書士事務所を開設。また平成16年より中国人技能実習生受け入れの前記組合を開設され、中国との架け橋になっておられます。



岐阜県
支部長

岐阜県同窓会各地区支部との組織の充実を

山脇 義宏 1962年度 体育学部 安八郡 0584-27-4678

岐阜県国体にとまない、第28回中京大学同窓会全国総会が開催され、川岸信一同窓会会長、ご来賓として小川英次理事長、北川薫学長、同窓会副会長梅村清英理事、校友会本部の皆様のご出席を頂き、各地区から同窓生約200人が参加し親睦を深めました。本年度は県内各地区支部との組織の充実を図っていききたいと思います。



和歌山県
支部長

全国同窓会の盛大な開催に備えて

四至本 晴夫 1964年度 体育学部 泉南郡 072-494-0232

本年11月30日(土)18:00~、ホテル・グランヴィア和歌山にて「第8回近畿地区支部長会及び和歌山県支部同窓会」が開催されます。

2年後、紀の国国体と合わせて開催予定の「全国同窓会」において、関西・近畿地区の同窓の皆様にご協力をお願いする絶好の機会として、支部同窓生、支部長様の来県をお待ちしています。



三重県
支部長

教員、警察、公務員を中心に活躍を期待

加古 昭次 1965年度 体育学部 松阪市 0598-29-1719

6月6日、志摩市での野球部同窓会を皮切りに、10月6日には相撲部(岐阜国体・郡上八幡市)、同月13日には体育学部(愛知猿投温泉)、11月10日には相撲部・柔道部合同同窓会(伊勢・鳥羽市)、そして最後は滋賀県大津市の会に参加して、同窓生との交流を深めました。今後、三重支部全体の発展を期待します。



兵庫県
支部長

姫路にお越しください

藤田 英明 1964年度 体育学部 西宮市 0798-53-3383

昨年12月に中・西播磨地区同窓会を開催し、参加者28名、学生時代の思い出話で盛り上がり絆も深まりました。両地区では「生涯現役」を目標に健康ウォーキングを実施しています。平成26年には姫路城も平成の大修理が終了予定で、姫路出身・黒田官兵衛ゆかりの井内地区長よりご来県の折はぜひご案内したいとのことでした。



滋賀県
支部長

連携を密に、新たな出会いを

奥村 源太郎 1964年度 体育学部 甲賀市 0748-88-4911

同窓会開催時にはいつも案内状をお送りしていますが、宛先不明者、音信不通の同窓生も多く困っています。そんな中、同窓生のつながりで県事務局に連絡が入り嬉しく思いました。同窓会欠欠の返事と住所変更は忘れずお願いします。また今後とも連携を密に、新たな出会いと語らいを大切にしたいと思っています。



徳島県
支部長

西日本IC(陸上)が本県で開催

堀北 茂生 1969年度 体育学部 阿波市 088-696-3225

本年7月6～8日、鳴門陸上競技場において西日本IC(陸上)が開催されます。

徳島県陸上競技会会長も中京大学OBであり、多くのOBの方々が陸上関係に関わっています。日頃、あまり活発には活動できていませんので、この機会を利用し、活性化できないかと話合っているところです。



鳥取県
支部長

支部総会への参加をお願いします!

清水 寛 1972年度 体育学部 鳥取市 0857-26-3236

鳥取県支部総会を平成26年度に竹内敏朗(1971年度商学部卒)江府町長のお膝元・江府町において開催する予定です。日時・会場等の詳細については、改めてご連絡致します。まずは同窓生の皆様に、一人でも多くご参加いただけますようお願い申し上げます。



香川県
支部長

あこがれの選手と…

高橋 卓巳 1979年度 体育学部 観音寺市 0875-54-3736

昨年11月、本県強化事業の一環として、オリンピックに出場した陸上競技『山本選手』を実技指導に招くことができました。陸上競技の現役、しかもオリンピック選手に来ていただけたことで、練習に参加した生徒たちはあこがれの選手と身近に接することができ、何よりのモチベーションアップとなりました。



鳥根県
支部長

本県支部同窓会の盛会を願って

大森 栄二 1972年度 体育学部 松江市 0852-24-4225

本県の卒業生は700名弱を輩出しており、石見部が約3割、出雲部が約7割となっています。平成25年度には支部同窓会が7年ぶりに開催されることから、より多くの参加者を積極的に募ろうと、役員を東西部に分けて新しく選任しました。宛先不明者を減らすためにも是非、たくさんのお情報をお寄せください。



愛媛県
支部長

平成29年、えひめ国体が開催されます

村上 泰史 1984年度 商学部 今治市 090-3187-3045

愛媛で64年ぶりに国体開催という、いわば歴史的瞬間に立ち会える喜びを感じています。「愛顔(えがお)がつなぐえひめ国体」をスローガンに、母校、同窓生のさらなる飛躍への一助となれますよう、全国同窓会の開催準備を進めて参ります。今後ともご支援、ご協力、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



岡山県
支部長

津山地区にて開催します

石川 浩朗 1969年度 体育学部 岡山市 086-272-6472

岡山県支部同窓会は、岡山・倉敷・津山・備前地区の4地区において開催していく計画です。平成23年の支部同窓会は倉敷地区で開催したこともあり、検討の結果、今回は津山地区で開催する予定です。交通手段等難点はありますが、皆さんの熱意で乗り越えていただき、多数のご参加をお願いしたいと思います。



高知県
支部長

支部総会へのご参加を

川島 祥嗣 1978年度 体育学部 高知市 088-833-5337

支部長を引き継ぎ、早くも2年目となりました。今年の支部総会は6月1日に開催予定です。また、恒例の梅村杯親睦ゴルフコンペも翌日に計画しています。改めてご案内をお送りしますので、多くの皆様のご参加をお願いします。また今後、支部活動を一層充実させていきたいと思っております。ご支援ご協力のほどお願い致します。



広島県
支部長

ご意見を集約して

徳永 安春 1969年度 体育学部 広島市 082-289-7631

校友会本部の活発な活動に支えられて、支部会員の皆様へ母校の様子がようやく伝わっているのが現状です。独自の会合などを計画しながらも、支部全体の動きにしようとして、いまだ実現に至っておりません。組織の再編成や地区割など、お一人おひとりのご意見をぜひお聞かせください!



福岡県
支部長

国を想い、地域を愛する議員として

武尾 一三 1969年度 体育学部 遠賀郡 093-202-1706

片山 尹さん(1968年度体育卒)は在学時、ラグビー部の副主将として活躍され、卒業後は地元北九州市に帰り、昭和56年に市議会議員に初当選。現在まで31年間議員として頑張っておられます。平成13～17年まで市議会議長を、その間、第55代全国市議会議長会会長も務められました。そんな同窓の活躍にご期待下さい。



山口県
支部長

近況報告会を予定しています

浜岡 藤生 1974年度 体育学部 下関市 083-259-8732

国体も終わり、当支部を少しずつでも盛り上げていかなければ、と思いつつも、今ひとつ活発に活動できていない状況です。

今年は夏に下関市内の同窓生だけでも集まって、近況報告会を開催したいと思っています。近隣の方にもご連絡致しますので、是非、気軽にご参加ください。



宮崎県
支部長

宮崎発、全国制覇への道

野中 芳郎 1969年度 体育学部 宮崎市 0985-28-4343

県内指導者の連携と資質向上を図る「リーダーズ・セミナー」において、全国高校連テニス部長として今年4月に就任された迫田義次氏(78年体育学部卒)が、「宮崎発・全国制覇への道」という内容で講演をされました。全国を舞台に活動する指導者として、今後さらなる活躍を期待しています。



佐賀県
支部長

昔ながらの名店を守る

佐保 文明 1970年度 体育学部 佐賀市 0952-62-4737

活躍する支部同窓生をご紹介します。大串高志(73年度法卒)先輩は、現在、「一休軒」というラーメン店を運営されています。先代からの味とのれんを引き継ぎ、佐賀では有名な行列の出来る昔ながらの豚骨スープを守りながら、経営されています。佐賀にお出かけの際にはぜひ一度、足をお運びください。(代筆 芦原 哲幸)



鹿児島県
支部長

皆で創ろう!支部の歴史

肥後 六男 1970年度 商学部 鹿児島市 099-295-3738

3年ぶりに支部同窓会を開催します。多くの同窓生で友好を深め、絆を確かめ合いながら、支部の歴史を築いていきたいと思ひます。また、同窓会強化の為に手を打たねばならない課題も多いですが、皆様にご協力をいただきながら進める方針です。同窓生への声かけとともに、多数の出席をお願い致します。



長崎県
支部長

輪を広げ、和を築く

妻鹿 実 1974年度 体育学部 西彼杵郡 090-4982-2046

10月13日の九州地区支部長会後、大学・校友会関係者を含めて「長崎県支部総会・懇親会」を開催しました。多くの会員の参加を得て、平成26年度開催の「全国同窓会」成功に向け、結束を確かめることができました。今後、さらに同窓の輪を広げ、和を築きながら、会員の絆をより一層強めていきたいと思ひます。



沖縄県
支部長

創立60周年に同窓生の結集を!!

宮城 鐵夫 1971年度 体育学部 名護市 0980-52-0008

平成26年にわが母校が創立60周年を迎えるにあたり、同窓生のより一層の結集を呼びかけていきたいと思ひます。沖縄県では平成25年10月に、校友会本部との共催で、「九州支部長会」並びに「支部同窓会」を開催予定です。数多くの支部同窓生の参加を呼びかけたいと思ひますので、ご協力のほどよろしくお願ひします。



熊本県
支部長

熊本県下全ブロックでの同窓会組織を!!

陶山 三千也 1978年度 体育学部 玉名郡 0968-34-3254

熊本県支部同窓会から1年が過ぎ、熊本県下各ブロック(市内・城北・城南・球磨市吉)で同窓会活動を、と思ひながらも、まだ実行に移すことができず企画倒れの感が拭えません。熊本県下全ブロックのリーダーの決定が急がれるところです。この紙面をお借りして、同窓の皆様のご協力をお願いしたいと存じます。



カナダ支部長

伊藤 孝太
1988年度 法学部
バンクーバー
604-568-1637



大分県
支部長

今秋開催の支部総会へ多数の参加を

石井 厚 1963年度 体育学部 築上郡 0979-25-0525

前回、国体開催中に行った「全国同窓会」以来、5年ぶりに「大分県支部同窓会」を今秋開催予定です。全国同窓会では、県内各地で国体業務の関係者として活躍された同窓生もおお、参加人数も少なかったため、今回は多数の参加を期待しています。なお校友会や大学側からも幹部の方や恩師の先生方が出席される予定です。



アメリカ合衆国支部長

立川 正孝
1966年度 商学部
ロサンゼルス
310-516-0366



オーストラリア支部長

平原 照仁
1989年度 社会学部
シドニー



中華民国(台湾)支部長

趙 榮瑞
1985年度 体育学部
台中市
0932-646-415



全国同窓会

第二十八回全国同窓会

九月二十九日(土)、岐阜市内のホテルで「第二十八回全国同窓会」を開催しました。毎年、国体開催地で実施する全国同窓会は、競技場分散化の影響で参加人数を減らす傾向にありましたが、今回、全国から二百名を超す同窓生が集結。川岸信一同窓会長、山脇義宏岐阜県支部長のご挨拶に続いて、小川英次学園理事長、北川薫学長が中京大学の躍進について熱く語られました。



また、梅村清英学園理事の乾杯の音頭で始まった懇親の席では懐かしい笑顔、笑顔、笑顔。国体出場選手の紹介で盛り上がり、台風の接近を忘れて学生気分を謳歌しました。

海外支部同窓会

アメリカ支部総会

昨年二月二十五日(土)、ロサンゼルス郊外にある立川支部長のお店「一力」で支部総会が開催されました。梅村清英理事(同窓会副会長)をはじめ、境賛三名誉教授、榎木蘭鉄也教授、片岡武司校友会本部長等六名と、短期研修中の国際



英語学部の学生六名を含む、二十六名程の出席者に加え、国際そろばん大会準備のため現地に滞在されていた暗算シニア連続日本一の黒川譲二さん(商七一年度卒)も急遽駆けつけてくれました。アメリカ支部では会員も増え、活動の輪が確実に広まっています。

カナダ支部同窓会

八月二十五日(土)、語学研修中の学生二十一名を招待してバンクーバー市内の公園で、昼食を兼ねたバーベキューを開催。カナダ支部のメンバーやJETプログラムの方々と交流を深めました。その後、大学関係者三名と場所を移して総会・懇親会を開催。設立一年目のカナダ支部の今後について大いに語り合いました。



台湾支部同窓会

九月九日(日)、台中市内のホテルで台湾支部同窓会が開催されました。大学から北川薫学長、梅村清英理事、小山哲スポーツ科学部教授、竹尾悟同窓会副会長他七名が出席。この日は顧問の陳全寿先生の誕生日ということもあつて大いに盛り上がりました。

北川学長から、陳先生との多彩なエピソードをご披露いただき、さらに十年先を見据えた大学改革に取り組んでいく決意を熱く語っていただきました。台湾では現在、同窓生の大半が教育界で活躍していますが、母校の影響力を再認識したひとときでした。



支部同窓会

北海道支部同窓会

校友会本部との共催による支部同窓会を七月二十八日に開催。校友会本部・大学関係者十名、東北六県の各支部長、四十九名の支部同窓生の参加を得ることができました。

北川学長のご挨拶で、今後の大学の指針が示され、東北各県の支部長挨拶では復興にむけた力強い歩みが紹介されると、万雷の拍手が沸き上がりました。最後は片岡本部長と学ラン姿の中津川氏(六九年度卒)のエル交換で終了しました。(矢藤 良雄)



岩手県支部同窓会

九月十五日(土)、盛岡市内のホテルで支部総会・同窓会を開催。大学・校友会本部六名の方々にご臨席賜りました。

総会は二十三名の参加で、田村雄孝(体六九年度卒)新支部長以下、副支部長に高橋良子(体同)、吉水宗男(体七二年度卒)、小野永喜(健七七年度卒)、事務局長に澤瀬清巳(体七八年度卒)が決定。

続くDVD鑑賞では母校の発展・充実する姿に参加者一同感激。活況のうちに会を閉じました。(田村 雄孝)

埼玉県支部同窓会

昨年二月二十五日(土)、さい

たま市内で総勢二十七名の



参加を得て同窓会を開催。

懇親会では旧友と交流を深め、世代を越えた親睦を相互に図りながら、時を忘れて大いに盛り上がりました。

埼玉県支部同窓会

十月六日(土)に開催した、関東地区支部長会埼玉県同窓会には総勢五十名(県勢三十二名)が集まりました。関東地区支部長の皆様、梅村清英同窓会副会長、校友会の皆様にもご参加いただきました。

またDVD上映では、母校の発展ぶりに感動し、懇親の席では旧友と交流を深めることができました。最後に、校友会本部より県支部旗を贈呈いただきました。ご心より感謝しております。(高木 英朗)



山梨県支部同窓会

昨年二月二十五日(土)、甲府市内の「甲府ニュー芙蓉」で、校友会本部から曾根課長、赤羽係長にご出席いただいた支部同窓会・総会を開催。

当支部は、小中高の先生方を中心とする学校部会を主体に納会や忘年会等を行い、会員相互の親睦と交流を深めてきましたが、一昨年の十二月には警察部会が発足。今回は学校部会、警察部会のメンバーに加え、行政機関や民間企業など幅広い分野で活躍中の同窓生が一堂に介し、大いに盛り上がりました。フィナーレは全員で肩を組んで学歌を斉唱。エールで締めました。



長野県支部同窓会

十二月八日(土)、県支部同窓会を松本市内の「ホテルモンターニユ松本」で開催。大分から高橋同窓会副会長、竹内教授、松藤先生、片岡校友会本部長ら八名のご出席をいただき、総勢五十四名での会となりました。

長野県全域から年齢も職業も違う同窓が集まり、再会の喜びを分かちつつ、懐かしい母校の話で盛り上がりました。今後は中京大学のつながりを一層強くするために、警察部会、行政部会、女性部会などの発足にも取り組んでいきたいと考えています。(柳瀬 元)



静岡県支部同窓会

七月二十一日、「第二回静岡市地区会」を静岡市で開催しました。県支部常任委員、清水区の杉山仁夫氏が中心となつて開催するもので、校友会本部曾根直樹課長を来賓にお迎えしました。曾根課長より、進化する名古屋・豊田両キャンパスの現況やロンドン五輪でのOB、学生の活躍ぶりが語られ、盛り上がりました。

当日は新卒者の進路支援協力の情報交換も活発に行いましたが、現在、県支部の女子部会などの組織づくりも進行中です。「お知らせ」二〇一五年、県支部同窓会・中部七県支部長会開催」(橋本 美智夫)



岐阜県下呂支部同窓会

六月十六日(土)、下呂市内のホテルで「下呂支部総会及び懇親会」を開催致しました。冒頭、野村誠顧問の下呂市長再選を祝して花束を贈呈。また片岡本部長より、母校の現状やロンドン五輪の選手を紹介していただき、後輩たちの活躍を頼もしく感じました。

懇親会では友好支部の岐阜県関支部安達様より乾杯の挨拶をいただき、宴がスタート。思ひ出話に加えて、近況報告や仕事のPRと話は尽きず、二次会へとなだれ込みました。少数支部ですが、今後も会員を増やし盛り上げていきたいと思えます。(桃原 直樹)



愛知県尾張支部同窓会

五月二十六日、「尾張支部同窓会総会および懇親会」を名古屋駅前「百楽」にて五十一名の参加を得て開催しました。大学から中川スポーツ科学部教授、校友会本部から曾根課長・赤羽係長の三名にご参加いただき、また愛知県学校部会顧問の吉田幸弘先生にもご臨席いただきました。

総会では、勇退される四名の先生方に記念品を贈呈。続く懇親会では、懐かしい話に花を咲かせ、若い世代の自己紹介は面白く笑いこけました。最後に学歌を斉唱し、明日へのエネルギーを充電して終了しました。(塚本 義光)



愛知県西三河支部同窓会

七月七日(土)七夕の日、「名鉄トヨタホテル」で総会を開催。役員の一部改正を図り、今後も代替わりを進めて若手の活躍に期待したいと思えます。

梅村義久スポーツ科学部部長、金子耕一スポーツ科学部教授、今井宏司同窓会顧問、片岡武司校友会本部長をお招きし、五名の新規会員を交え、四十四名の同窓生と懇親を深めました。母校のお膝元、西三河地区の勢いも増すよう誓った懇親会となりました。現在、会員数は二百二十六名。全会員の積極的な参加をこれからもお願い致します。



愛知県知多支部同窓会

恒例の知多支部総会が平成二十五年二月七日(木)、半田市内で盛大に開催されました。校友会本部からは、片岡武司本部長と曾根直樹課長にご臨席賜り、今年度、入学志願者が増加した母校の近況についてお話しいただきました。また来年、開学六十周年を迎えるにあたって、名古屋キャンパス内に新学舎が完成。十年先を見据えた将来計画も策定中とご報告いただきました。

続く懇親会では、知多支部は圧倒的に教員が多い関係から、いじめや体罰について積極的に意見交換する光景が見られ、同窓会の素晴らしさを再認識することができました。



滋賀県支部同窓会

十一月十日(土)、「大津プリンスホテル」において支部同窓会を開催。本年度は近畿支部長会の開催年でもあり、六名の支部長の皆様にもご出席いただきました。川岸会長、森参与、大学から高橋スポーツ科学部教授をはじめ四名の先生方、校友会から片岡本部長の他多くの方々にご臨席賜り、盛大な会となりました。

また自転車部OBの井狩吉雄選手に特別表彰を行い、全国から大勢の自転車部OBがご参加下さいましたが、今回は体育学部以外の同窓生も多く、今後の出席者増に期待できそうです。(奥村 源太郎)



福井県支部同窓会

十二月一日(土)、「ユアーズホテルフクイ」において、総会・懇親会を開催しました。大学からは北川薫学長、今井宏司顧問、地元出身の三上肇スポーツ科学部教授、校友会からは片岡武司本部長以下三名にご出席いただきました。

北川学長のご挨拶では「今、中京大学には日本全国、さらには世界的視点から大学戦略が求められており、制度改革を含めて、一歩ずつ革新の道を真摯に歩みたい」と母校の近況報告がなされました。

懇親会の締めは、恒例の学歌斉唱。全員で声高らかに歌い、片岡本部長にエールをいただきました。本当に有難うございました。(坂下 貞雄)



京都府支部同窓会

六月三十日、「ホテルグランヴィア京都」において支部総会・懇親会を開催。新支部長には木村義二顧問に南部厚英辻野朝辰、副支部長に新野幹雄、野々口直良・和田喜昭・井嵩貴夫・芳村猛・渡辺弘の各役員が選出されました。また懇親会では梅村理事、安村副学長、川岸同窓会長、大内参与、片岡本部長の他多くの大学関係者にご出席いただきました。途中、

北川学長も参加され、また余興では湊元校長の「安来節」、女性コーラスが華を添える盛大な会となりました。互いの「絆」を大事にして京都府支部を盛り上げていきたいと思えます。(木村 義二)



京都府京丹後地区同窓会

六月二日(土)、京丹後市内で支部懇親会を開催しました。当日は市内スポーツクラブで高橋繁浩水泳部監督(スポーツ科学部教授)による水泳教室も行われ、二百名の老若男女が集まりました。夕方からの懇親会では、堀山健治剣道部監督(スポーツ科学部教授)、高橋監督、片岡武司校友会本部長の三名のご来賓、二十三名の地区同窓生が一堂に会し、旧交を温めました。現在、京都府会議員が一名、京丹後市会議員が三名、他にも教育界、経済界、地域活動にと同窓生が幅広く活躍しており、建学の精神を真に体得実践しておられることを実感した一日となりました。

また次回開催は二〇一三年十一月九日(土)六時「新大阪ワシントンプラザホテル」の予定。さらに多くの方々に参加いただけますよう、お誘いの連絡をよろしくお願い致します。(岡本 博)



大阪府支部同窓会

大阪支部独自による支部同窓会・懇親会を十一月十七日(土)、「ベイタワー大阪」にて十八年ぶりに開催。大阪支部活性化と組織再編成のため、約七十名が集結し、久しぶりの同窓会で大いに盛り上がりました。遠方からご出席いただきました梅村清英学園理事、寺尾悟同窓会副会長、片岡武司校友会本部長、赤羽秀治校友会係長に感謝申し上げます。

また次回開催は二〇一三年十一月九日(土)六時「新大阪ワシントンプラザホテル」の予定。さらに多くの方々に参加いただけますよう、お誘いの連絡をよろしくお願い致します。(岡本 博)



兵庫県支部同窓会 ゴルフコンペ

第八回「梅村杯」同窓会兵庫県支部ゴルフコンペを八月十日、兵庫県三木市の「オリエンタルゴルフ倶楽部」にて、大学より四名、地元二十名の参加を得て実施しました。

真夏の大変暑い中でしたが、起伏に富んだコースを、わいわいがやがや、終始楽しく十八ホールを回ることができました。今回の優勝者は富森孝氏(体八三年度卒)でした。

さて兵庫も十地区を設け、各地区長が同窓生の掌握に努めています。今後、地区別同窓会の開催も検討しています。皆様の積極的な参加を期待しております。(藤田 英明)



兵庫県支部
中・西播磨地区同窓会

十二月十五日、二十年以上のブランクを経て中・西播磨地区同窓会を開催しました。

経年と共に皆、役職等、様相に変化はありましたが、学生時代の思い出話に花が咲き、支部三名を加えた二十八名で旧交を深めることができました。生涯現役、あるいは第二の人生を謳歌されている方も多く、お互いに刺激し合うなど有意義なひとときに、以後、年一回の開催を採択し閉会。「場づくり」「機会づくり」の成長の好循環を生み出す提供を念頭に置き、健康で学び続ける同窓生でいたいと考えています。(井内 義延)



岡山県支部同窓会

十一月二十四日(土)午後六時、林邦夫教授をはじめ八名の大学関係者の皆様、中国各県支部長八名の方々をお迎えし、岡山全日空ホテル十九階「空」の間において、賑やかに楽しく岡山県支部同窓会を開催致しました。

大学の紹介DVDでは、母校の素晴らしい発展ぶりに感嘆の声が上がりました。また、岡山県支部長として活躍いただいた内田孝充元支部長、島津守前支部長のお二人を顧問としてご承認いただきました。次回の県支部同窓会は、津山市で開催予定です。(石川 浩朗)



徳島県支部阿波踊り
中京大学連

今年度は八月十三日、激しい雷雨の中での阿波踊りとなりました。中止も当然と思いきや、開始を知らせる花火が上がり、慌てて演舞場へと駆けだした次第です。私自身、長く阿波踊りに参加していましたが、このような悪天候の中、踊るのは初めての経験でした。さて平成二十五年七月には、鳴門陸上競技場で「西日本インカレ」が開催されます。この時、支部総会を開催すれば多くの同窓生が集まるのではないかと計画を練っています。活気ある支部となれるよう、ご支援の程よろしくお願ひ致します。(堀北 茂生)



高知県支部同窓会

六月九日(土)、市内ホテルで支部総会懇親会を開催。片岡校友会本部長より、新キャンパス構想等が発表され、躍進する母校に感銘を受け、卒業生としての自覚が一層強くなることを感じました。

同窓と親交を深めた翌日は、好天の下、梅村杯争奪の親睦ゴルフ大会を「土佐カントリークラブ」にて開催。絆の強さを確認したひとときでした。



愛媛県支部同窓会

十月二十七日(土)の同窓会にご参加いただきました皆様、有難うございました。お陰様で和気あいあいと親交を温めることができました。

支部長を拝命して早七年、当時日本拳法の「に」の字も知られていない今治の地で、日本拳法の道場「今治拳友会」を立上げ、二〇一二年の春には、県体協、市体協への加盟、夏には四国初の高校全国大会開催、二〇一七年えひめ国体デモスポ実施候補種目承認と、同窓会開催と共に忘れられない一年となりました。今があるのも、中京大学で学生生活を過ごせたおかげと感謝しています。(村上 泰史)



長崎県支部同窓会

十月十三日(土)、長崎市内のホテルで「長崎県支部総会・同窓会」を開催しました。九州地区支部長会も同日開催のため、大学や同窓会、校友会のご来賓十一名と九州各県の支部長八名に長崎県支部会員二十五名を加えた総勢五十四名の盛大な会となりました。

今井顧問、土方顧問にご挨拶をいただき、大内参与の乾杯の音頭で懇親会がスタート。還暦を迎えた会員二名への記念品贈呈も行い、親睦を深めました。二年後の全国同窓会成功に向けて結束を強め、万全の準備をしたいと思っています。皆様のご参加をお待ちしております。
(妻鹿 実)



学校部会

八豊会総会

二〇一二年、名古屋市立小・中・養護学校の同窓生による八豊会総会懇親会を五月十二日(土)に中京大学センタービルで開催しました。

総会では、二百八十七名の会員のうち半数以上が採用十年目までの青年部員であることが報告され、青年部会の活性化の重要性を全員で確認しました。また続く懇親会では、片岡校友会本部長から激励の言葉をいただき、その後、和やかなムードで懇談が進み大変有意義な会となりました。
(服部 建二)



愛知県学校部会総会

二〇一二年の愛知県学校部会総会を六月二日(土)名古屋キャンパスで開催しました。新任二十二名を含む八十九名が集結。総会終了後は大藤敏行氏(中京大学附属中京高等学校野球部顧問)の講演、さらに会場をアレーナ211に移して大学関係者十八名をお迎えし、総勢百十名が参集する盛大な懇親会となりました。

ご来賓の梅村清英理事、安村仁志副学長からは発展する大学の近況などお話しいただき、新任教員の方々には教育者としての思いや決意を語っていただくなど、さらなる発展を期待できるパワーを感じた一日でした。



愛知県学校部会 ゴルフコンペ

八月に恒例の愛知県学校部会ゴルフコンペを「オールドレイク春日井」にて開催。

当日は女性の参加者が多く、華やかで賑やかなコンペとなりました。好天に恵まれ、暑い一日となりましたが、笑顔とハッスルプレーで皆、ゴルフを楽しんでいました。

ラウンド後のパーティーでは、北川学長からますます発展している母校の様子や今後の展望についてお話を聞き、中京大学が日本を代表する大学へ変貌しつつあることを実感。参加者一同、母校への誇りと愛校心を一層高めることができました。
(服部 建二)



愛知県学校部会 管理職・行政職懇親会

愛知県学校部会管理職・行政職懇親会を十月二十日(土)、小川英次理事長はじめ十七名のご来賓をお迎えして名古屋市内で開催しました。

公立私立四十二名の参加者一人ひとりが管理職として、今後の教育活動や目標を語り合い、校種を超えて絆を深め、母校のさらなる飛躍に期待を膨らませた大変、素晴らしい会となりました。

最後に、ますます高まった母校への思いや感謝の気持ちを込めて学歌を斉唱し、会を終えました。
(小瀧 英二)



愛知県学校部会
私立学校教職員部会

八月二十九日(水)、懸案事項であった愛知県内の私立学校に奉職している教職員の懇親会が名古屋市内のホテルで開催される運びとなりました。

第一回目となる懇親会には、県内二百七十七名の同窓生のうち、六十五名余りが参加。大学から北川学長をはじめ梅村理事、安村副学長、川岸同窓会長ら十二名が出席。発起人の松本吉男至学館高等学校長が挨拶され、この日を迎えた喜びを語られました。続いて北川学長、梅村理事、安村副学長、川岸同窓会長より挨拶があり、私学の会が発足したことに賛辞が贈られました。



中西新八郎啓明学館高等学校
校長の音頭で乾杯。そこかしこ

で情報交換を兼ねた懇親の輪が広がり、愛知の私学を盛り上げようという勢いを感じられる懇親会となりました。

愛知県特別支援学校部会

愛知県特別支援学校部会の総会・研修会が九月八日(土)、名古屋市内の「ルブラ山王」で行われ、県内の盲聾・養護学校の校長・教頭・教諭等百二十五名が出席しました。

総会後、片岡武司校友会本部長の講演があり、教員として日々、変化する子どもたちに、個に応じたきめ細かな支援指導が必要か。教育者としての姿



勢と生き方まで改めて考えさせられる内容でした。

また毎年会員も増え、二百七十六名の大所帯となつて充実した活動を展開できています。今後も多く素晴らしい先輩が育つよう、心と心が本同窓会であつていくことを期待します。(高村 葉子)

中京挙母会

新春一月十八日、第二十五回中京挙母会が太田稔彦豊田市長、笠井保弘教育委員会教育長はじめ十三名のご来賓を招き、盛大に開催されました。本年度は百六十名に迫る体制となり、教育に全力を注ぐと誓い合った素晴らしい会となりました。(山村 実)



北海道学校部会

本年一月十日(木)、「ホテルポールスター札幌」において、第六回学校部会総会を開催しました。昨年を超える豪雪と厳しい寒さに見舞われながらも、全道各地から三十余名の会員が集結。

総会後の北川薫学長による講演会では、科学的分析に基づいた講義や実技指導など、素晴らしいスタッフのもと、教員を目指して頑張っている学生たちの様子が窺えました。また懇親会では、和やかな雰囲気の中、お互いの近況報告や情報交換などで盛り上がり、最後に学歌を斉唱。中島光弘今金町教育長に締めをいただきました。(高井 雅二)



静岡県学校部会

四月十四日(土)、静岡県支部学校部会総会・情報交換会を静岡市内で開催しました。総会では新会長の選出、学校部会への参加呼びかけ、就職を希望する後輩の支援など、今後の活動について検討。また学校部会設立時にご尽力いただいた故山梨繁前学校部会長の功績に感謝するとともに、その遺志を継いでいくことを再確認しました。

情報交換会・懇親会では、片岡校友会本部長より飛躍する母校の紹介があり、参加者一同嬉しく思いました。今後は新たな参加者を獲得しつつ組織の拡充を図りたいと考えています。(柳本 雅弘)



石川県学校部会

十一月十七日(土)、第八回学校部会が金沢市内のホテルにて、会員五十名の参加のもと開催されました。

今回は、高橋繁浩スポーツ科学部教授の講演があり、ロンドン五輪で活躍した日本競泳界の躍進についてのお話は大変興味深いものでした。

続いて行われた懇親会には、支部同窓生も参加。杯を酌み交わしながら絆を深める中で、校友会本部曾根課長より、躍進する大学の近況を、県教委の濱辺スポーツ健康課長からは、本県スポーツ界の現状についてのお話を伺うことができました。(岩下 良)



クラブOBBOG

剣友会

剣道部OBで組織する「剣友会」が発足三十周年を記念し、「第一回中京大学剣聖旗全国選抜高校剣道大会」を開催。平成二十四年二月十一日、十二日の両日、全国各地の剣道部OBが、教え子の高校生約八百名を率いて豊田キャンパスに集結。インターハイ女子団体優勝の茨城県守谷高校をはじめ、全四十九校男女八十六チームが熱戦を繰り広げました。結果、男子は高山西高校(岐阜)、女子は守谷高校(茨城)が優勝。剣友会では毎年、継続開催する予定です。



弁論部OB会

四月十四日(土)、弁論部OB会を開催しました。弁論部が活動を再開して四十五周年という節目に十二名のOBが集い、母校見学からスタート。部室があった本館も今はなく、生まれ変わった姿に皆、感動した様子です。また当時、月一度は集まった「東寿司」に席を移して懇親会を開催。懐かしい思い出がよみがえり、学生時代に戻ったかのようでした。かつて文化会を引っ張ってきた当部ですが、現在は休部中であり、これを復活できるように最大限の努力を続けることを誓い、散会しました。

美術部OBとしわ会

九月四日～九日まで、「名



古屋市民ギャラリー栄」にて、「第十二回中京大学美術部OBとしわ会展」を開催しました。十二名の会員の他、そのご家族や知人、さらには梅村学園最高顧問梅村清弘先生、旧松阪女子短大美術部OGにもご出品いただき、合計四十一作品を展示。約千名を超える来場者からは、ハイレベルな作品の数々に高評価をいただくことができました。

八日には親睦会を行い、学生時代の話題で大いに盛り上がり、再会を約束しました。次回は九月二十四日～二十九日の開催予定で、新たな作品づくりに取り組みむほか、十二月七日・八日に三重県尾鷲にて忘年会を行いました。今後とも梅村学園美術会の為に会員一同、親睦・交流を深めていきたいと念じております。(川窪 元雄)

体操部四十二年同期会

第六回目となるトナ会(体操部昭和四十一年度卒業生同級会)を十月十七日から二泊三日、青森県を舞台に開催。元弘前市立第三中学校校

長の西谷勲君とその義弟の村田君を幹事に、全国から参集した全十一名でのツアーとなりました。秋錦繡の八甲田山、開運・福の神をたてまつる岩木山神社、世界遺産の白神山と景勝地を巡り、夜は皆で枕を並べて学生時代の合宿気分を味わいました。部活動で培った太い絆と幹事に感謝しつつ、次回開催地・兵庫での再会を誓い、帰途に着きました。「永遠に友」―私たちの青春は終わらない―

(市川 絃二)



体育学部三回生同窓会

第十一回「三八会」同窓会を十月二十二日(月)、愛知県大山市の清流豊かな木曾川河畔「迎帆楼」で開催しました。

ご多忙にもかかわらず、北川薫学長が駆けつけ母校の現状、躍進ぶりをお話しくださいました。同窓生として誇らしくあると同時に、役割と責任の大きさを痛感し、身の引き締まる思いがしました。

懇親会では卒業以来の再会もあり、懐旧の情に親しみ、終始なごやかで楽しい会となりました。次回は平成二十六年、三重県伊勢市で開催予定です。「好友相招入座儘風流」の気持ちで多くの参加をお待ちしております。(町田 広住)



体育学部五回生同期会

十月二十七日、十一回目となる同期会を開催。この会は北海道から福岡まで各自の故郷で企画し、今回は二巡目、愛知での開催です。まずは名古屋キャンパスに集合し、恩師

(故梅村すみ子先生・故斎辰雄先生)のお墓参りを済ませた後、豊田キャンパスのアイスアリーナを見学。浅田真央選手にも出会い、喜びの見学となりました。夜の宴では、古希を迎えた年齢に合わせ、孫

の自慢話で顔もほころんで、楽しいひと時があつという間に過ぎていきました。次回は富山で開催予定です。より多くの皆様に再会できることを楽しみに！(塩谷 史郎)



ハンドボール部球友会

中京大学ハンドボール部創部五十五周年、球友会創立五周年記念総会懇親会が、十月二十七日(土)に名古屋市内のホテルで開催されました。

球友会会員及び現役学生、約百名近くが集まり、創部当時から年代ごとのエピソードを含めて大いに語らい、懐かしく楽しく過ごせました。

平成二十九年十月には、創部六十周年・球友会創立十周年記念式典が計画されています。その際、六十周年のあゆみとして記念誌を発行予定ですので、原稿や写真・戦績等の資料提供をお願いします。球友会事務局090-3309-4212(梶川まで)(梶川 佳孝)



ソフトテニス部OB会

十一月三日(土)、ソフトテニス部男子「第三十二回全日本大学ソフトテニス王座決定戦」優勝祝賀会を開催。来賓、父母、OB、在学生を加え百二十名余が参加し、十二年ぶりの優勝を祝しました。

藤原伸二OB会長の挨拶にはじまり、北川薫学長、小山哲部長、岡本佑三愛知県ソフトテニス連盟副会長ら皆様にご挨拶いただき、優勝の感動を味わうことができました。

また思い出話にも花が咲き、瞬く間に終わりの時間を迎えました。稲垣道夫前コーチの音頭で万歳三唱がなされ、横江忠志副会長により中締め挨拶が行われ散会しました。



中京ジュニアカップ体操競技会新体操競技交流会

第十六回中京ジュニアカップ体操・新体操交流大会を昨年三月に開催しました。

体操競技は鯖江市立待体育館、新体操は豊田キャンパス六号館を会場に、小学一年から高校三年生まで参加。器械体操の部は百十三名(新潟・福井・岐阜・愛知)、新体操の部は二百三名(大阪・京都・三重・愛知)が晴れの舞台に立ち、日頃の練習の成果を発揮しました。

八月には新体操部の同窓会を、十二月には毎年行っているスポーツ講演会を豊田キャンパス八号館にて開催。体操競技・新体操部員たちにエールを捧げました。(野々部 利夫)



アメリカンフットボール部
OB会

二〇二三年一月十二日、名古屋キャンパスにて梅村清英顧問、瀧剛志部長、小山哲副部長、出席のもと、OB会総会が開催されました。役員改選、事業報告等とともに、山内直人監督よりチームの現状報告があり、今シーズンの決意と抱負が述べられました。

現在、住所録を整理中です。OB会通信が届いていない方は事務局・佐々木まで。

【TEL】090-4479-0443
【MAIL】k_sasaki@red-panthers.com

体操競技部・新体操部
四十三年同期会

十月二十八日・二十九日、三重県鳥羽市「鳥羽シーサイドホテル」で第七回同期会を開催しま



した。温泉やお伊勢参りも堪能。今回は一人の友が他界し、黙祷を捧げて偲びました。本年も十月末に彦根で開催予定です。多くのご参加、またの再会を期待しています。(野々部 利夫)

体操部祝賀会

平成二十四年秋、体操競技の振興に尽力された小竹登美子先生(体六四年度卒)が旭日単光章を受章され、その祝賀会が一月十九日(土)、開催されました。体操競技部新体操競技部同窓会主催ながら、祝賀会には日本体操界の錚々たる指導者が集まり、小竹先生を祝福されました。今後益々のご活躍を祈念しております。



在学生支援

愛知県・名古屋市
新任教員研修会

平成二十四年三月三日(土)、名古屋キャンパスにおいて、愛知県・名古屋市立学校採用試験合格者(百十二名)の研修会・懇親会を開催しました。

第一部では、愛知県学校部の管理職者によるアドバイスをはじめ、学校種別に分かれた細かな研修会を開催。第二部の懇親会では、個別相談や新任教員同士での懇談など、大変有意義な会となりました。

愛知県教員採用試験
面接実技研修会

平成二十四年四月二十一日(土)、教員採用試験対策として、「第二十六回面接・実技講習会」を豊田キャンパスで実施。教員志望の在学生にOBの教員が指導するもので、今回は九十四名の在学生・卒業生が参加しました。グループ毎に実技および面接指導を受け、学生たちは教員採用試験に向けて改めて強い気持ちを持ったようです。

名古屋教員
採用試験学習会

五月二十六日(土)、名古屋キャンパスにおいて、大学主催による名古屋教員採用試験学習会が開催されました。

大学の要請により、名古屋市立の小・中・養護学校教員で組織するOB会(八豊会)有志が集まり、教員志望者(二十二名)を対象に、合格に向けた心構えや面接を指導。今回新採用となった卒業生から、教員採用試験の傾向と対策など最新情報を含めたアドバイスもあり、皆、熱心に耳を傾けていました。(仲辻 彰人)

愛知県警察官採用試験
面接講習会

愛知県警察官採用試験一次試験に合格し、二次試験突破を目指す学生たちを対象に「愛知県警察官採用試験面接講習会」が開催されました。

五月三十一日(木)、名古屋キャンパスに集まった参加者は女子学生七名を含む約五十名。スーツ姿に緊張した面持ちで臨み、本学OBであり県警本部警視経験者の講義に気持ちを引き締めていました。

課外活動奨励賞授与式

五月二十四日(木)・十二月二十一日(金)二〇二二年度同窓会課外活動奨励賞の授与式を開催。この賞は、課外活動で優秀な成績を挙げた学生及び団体を表彰し、課外活動の高揚を図るもので、今回は上半期と下半期合わせて、個人五十四名二十一人団体に賞状と奨励金を授与。今後大いに活躍されることを期待します。



地域に開かれた大学として、また「知」の地域社会への還元の間として、さまざまなカタチでキャンパスを提供している中京大学。同窓生の方々に、自由に活用いただける施設ばかりです。

図書館

2つのキャンパスにある4つの図書館、97万冊の蔵書を開放。

豊田キャンパス



豊田キャンパスの10号館、通称「豊田御殿」と呼ばれる瀟洒な建物が「豊田図書館」です。スポーツ科学部、現代社会学部、情報理工学部(2013年4月から工学部)を擁するキャンパス内の図書館だけあって、各学部関連の研究・調査資料が大変充実しています。また、開架スペースと閉架書庫を備えた館内には、それらの膨大な資料をコンピュータで検索するシステムや視聴覚コーナー、グループ学習室も完備。貸出冊数などは名古屋キャンパスと同様ですので、読書の場や憩いのスペースとして、どうぞ気軽にご利用ください。

開館時間 平日/9:00~20:30 土曜日/9:00~17:30

名古屋キャンパス



多くの学科を備える総合大学にふさわしい、多分野にわたる学術図書、雑誌及び視聴覚資料など幅広く収集、保管されている中京大学。名古屋キャンパスには、東海地区の大学では初の自動書庫(80万冊収蔵可能)が導入されたほか、貴重本書庫、積層式書庫やラーニングスクエアが設置された「名古屋図書館(本館)」、資料を直接手に取って閲覧できる開架式中心の「ライブラリーサービスセンター」、さらには政治・法律専門の図書館「法学文献センター」と3つの図書館が整備されています。いずれも簡単な登録手続きだけで利用でき、貸出冊数は5冊まで、期間は14日以内となっています。

開館時間	平日	土曜日
NL	9:00~22:00	9:00~22:00
LSC	9:00~20:00	9:00~12:30
LLC	9:00~19:00	9:00~12:30

※NL:名古屋図書館の略称 LSC:ライブラリーサービスセンターの略称
LLC:法学文献センターの略称

学びの機会、学ぶ喜びを
より多くの方々に。

オープンカレッジ

名古屋キャンパス内

中京大学では、一般の人々が参加できる生涯教育の場として、春期・秋期と「オープンカレッジ」を開講。文学、ビジネス、スポーツ、芸術など、多分野にわたる講座を開いています。語学学習などはとくに、個々のレベルに応じて選択できる上、開講時間も午前・午後・夜間と利用しやすいよう配慮。より多くの方々の生涯学習への旺盛な意欲をサポートしています。



セミナーハウス

風光明媚なリゾート地に佇む、ゲストハウスをぜひ学生気分です。

マウントビュー 蓼科



南・中・北アルプスと八ヶ岳連峰の雄大なパノラマを望み、36,000平方メートルの広大な敷地に佇むのが「マウントビュー 蓼科」。標高1,500メートルの高台にあり、周囲は白樺林に囲まれた閑静な別荘地。森の中で野生動物と出会ったり、星空を眺めたり。大自然と戯れ、澄んだ空気を深呼吸すれば、心からリラックスできることでしょう。館内にはサウナ付きの大浴場、さらにはテニスコートなど屋外施設も充実。お食事は季節の食材をふんだんにあしらった、和食中心のメニューをお楽しみいただけます。

〒391-0213 長野県茅野市豊平字東嶽4734-2841
TEL:0266-76-2588 FAX:0266-76-5539
● 一泊2食(平日・税込み)7,700円～

レイクビュー 白馬



信州・白馬山麓に位置する神秘的な青木湖を眼下に望むセミナーハウスが、「レイクビュー 白馬」です。標高九百メートルに位置し、冬は目の前にあるファミリーゲレンデでウィンタースポーツを満喫。また八方、梅池、立山アルペンルートなどのトレッキングや青木湖でのフィッシング、安曇野周辺の美術館めぐりなど、スポーツからレジャーまで、オールシーズン楽しめる休日の拠点として気軽にご利用いただけます。夕食は地元の食材をアレンジした、洋食のフルコースをたっぷりご堪能ください。

〒398-0001 長野県大町市大字平エビスマ23370
TEL:0261-21-4500 FAX:0261-21-4510
● 一泊2食(平日・税込み)7,800円～

放送大学

通信制大学の、
バックアップ拠点として。

テレビやラジオによる講義を視聴し、マイペースで学びながら大学卒業資格を得られる通信制大学が「放送大学」です。本学センタービル4階にある「愛知学習センター」は、その北陸・東海地区における拠点で、メディアを介した方向の授業に偏らないよう、スクーリングによる面接授業を実施しています。現在、学部学生、大学院生合わせて三〇〇〇名余が在籍していますが、向上心あふれる社会人学生を支え、人間交流をサポートするのも本学の大切な役目と考えています。



支部同窓会開催予定(二〇三三〜二〇三九年度)

地区	県名	会員数 (住所判明者)	年度(西暦)						
			13	14	15	16	17	18	19
北海道・東北⑦	北海道	529							●
	青森	126			●				
	岩手	123	●			★			
	宮城	133				●			
	秋田	136						●	
	山形	144					●		
	福島	149		●					
関東⑦	茨城	248				●			
	栃木	185						●	
	群馬	281	●						
	埼玉	360							●
	千葉	416		●					
	東京	580	★				●		
	神奈川	506			●				
中部⑧	新潟	533	●						
	富山	1,555					●		
	石川	1,445						●	
	福井	1,220						★	
	山梨	247		●					
	長野	1,610							●
	岐阜	7,078				●			
静岡	4,562			●					

※各都道府県支部同窓会は、7年に1度の開催になります。

●…地区支部長会 ★…全国同窓会(国体開催県)

地区	県名	会員数 (住所判明者)	年度(西暦)						
			13	14	15	16	17	18	19
近畿⑦	三重	6,220		●					
	滋賀	1,425							●
	京都	957			●				
	大阪	1,239				●			
	兵庫	2,161						●	
	奈良	460					●		
	和歌山	804	●		★				
中国・四国⑨	鳥取	420							
	島根	524	●						
	岡山	979							●
	広島	1,198			●				
	山口	536				●			
	徳島	796					●		
	香川	748		●					
	愛媛	687						★	●
	高知	538						●	
	福岡	561		●					
九州・沖縄⑧	佐賀	231			●				
	長崎	275		★					●
	熊本	208						●	
	大分	295	●						
	宮崎	300				●			
	鹿児島	384					●		
沖縄	349	●							

二〇三三年度
同窓会開催予定(校友会本部共催分)

支部	開催日	開催地	会場	住所	電話番号
岩手県	10月5日	(土)	盛岡市 ホテルメトロポリタン盛岡 本館	〒020-0034 盛岡市盛岡駅前通1-44	019-625-1211
群馬県	10月12日		高崎市 高崎フジントンホテルプラザ	〒370-0849 高崎市八島町70	027-324-5111
新潟県	9月21日		新潟市 ホテルイタリア軒	〒951-8061 新潟市中央区西堀通7番町1574	025-224-5111
和歌山県	11月30日		和歌山市 ホテルグランヴィア和歌山	〒640-8342 和歌山市友田町5丁目18番地	073-425-3333
島根県	11月23日		松江市 サンラポーむらくも	〒690-0887 松江市殿町369番地	0852-21-2670
大分県	11月16日		大分市 大分オアシスタワーホテル	〒870-0029 大分市高砂町2-48	097-533-4411
沖縄県	10月19日		那覇市 ホテルロイヤルオリオン	〒902-0067 那覇市安里1-2-21	098-866-5533
全国同窓会	9月28日	(土)	新宿区 京王プラザホテル	〒160-8330 東京都新宿区西新宿2-2-1	03-3344-0111

二〇二二年度
中京大学同窓会 決算報告書

収入		支出			
前期繰越金	78,850,853円	支部同窓会開催費	33,036,655円	各会開催費	10,301,032円
会費	182,379,685円	全国支部総会費	3,172,191円	事務局運営費	1,126,601円
支部同窓会参加会費	2,028,000円	ホームカミングデー開催費	2,269,545円	学術・スポーツ活動奨励寄付金	2,000,000円
全国同窓会参加会費	78,000円	会報発行費	6,355,013円	雑費	866,810円
名刺交換会参加会費	1,626,100円	通信費	25,811,779円	入学辞退者等会費返金費	1,880,245円
中京大学UCSカード販売協力金	239,111円	広告費	30,000円	大学設備整備事業費	1,505,250円
受取利息	62,689円	奨学費	48,330,000円	教育事業支援準備費	50,000,000円
預金(振込手数料)	11,935円	課外活動奨励賞	6,950,000円	次期繰越金	73,216,073円
その他収入	2,883,075円	課外活動援助費	840,000円		
戻入金	7,946,741円	記念品等作製費	8,414,995円		
合計	276,106,189円	合計			276,106,189円

2人目の代議士誕生!

昨年暮れに行われた総選挙において神田憲次さん(84年度英文学科・86年度法学研究科)が当選され、本学の卒業生としては2人目の衆議院議員が誕生しました。神田さんは税理士として活躍されてこられました。自民党の候補者の公募に急遽応募し、公示の10日前に公認が決定すると云う慌ただしい中、短期決戦を強いられました。激戦を見事に勝ち抜きました。さる1月9日(水)中京大学にお越しになり小川英次理事長、梅村清英理事等にご挨拶されました。ちなみに神田さんの好きな言葉は「真剣味」です。中京魂で頑張っていただくことを祈念しています。



左から2人目が神田代議士

個人情報保護法への対応について

〔基本方針〕

校友会本部における個人情報の取扱いは、次の方針で行います。

- ①利用目的をできる限り特定し、必要な範囲に限り個人情報を取得します。
- ②利用目的の範囲内で、業務の遂行上必要な限りにおいて個人情報を利用します。
- ③取得した個人情報は、本人の同意を得ることなく、第三者に提供しません。
- ④情報セキュリティ対策をはじめ、個人情報の紛失、漏えい等の予防に努めます。
- ⑤外部への業務委託については、個人情報の保護に関する契約の締結及び委託先に対する監督を行い、情報の管理に努めます。
- ⑥本人から個人情報の開示・訂正等の請求がなされた場合は、その請求を尊重して対応します。

〔具体的方針〕

- ①会員データの利用目的は、会則に定める「会員相互の親睦を図り、中京大学の発展に寄与すること」に必要な各種案内や刊行物の発送に限り、それ以外の目的には利用しません。

- ②校友会本部が管理する個人情報のうち、「会員ナンバー、卒業年度、学科、氏名、住所、電話番号、勤務先名、職名、勤務先電話番号」を各県支部長(部会長)及び各OB会長に提供します。ただし、提供するデータは各所属会員のものに限り、

※この場合の各県支部長(部会長)・各OB会長は、(法21条に定める)校友会本部の従業者に該当します。

- ③個人情報は校友会本部が一元管理し、従業者が個人情報を適正に管理するよう監督します。
- ④従業者以外の方には、個人情報を提供しません。(同窓会名簿は発行しません。)
- ⑤第三者が情報の提供を求めてきたときは、校友会本部がその用件を本人に取り次ぎます。(本人が必要と判断した場合は、本人から相手方に連絡をとっていただきます。)
- ⑥本人から個人情報について削除の請求がなされたときは、その請求を尊重して対応します。

※個人情報の削除を希望される方は、校友会本部へご連絡ください。所定の手続きの後、データを削除いたします。ただし、削除後は中京大学広報や同窓会通信等の刊行物及び同窓会やホームカミングデー等の開催案内が一切届かなくなりますのでご承知おきください。

編集後記

「同窓会通信第31号」をお届けいたします。今号では、「つながり広がる」をテーマに構成しました。

母校と卒業生、同窓生同士、また世代を超えたつながりもあります。50年を超える本会の歴史がそのつながりを築き、今後も広がっていくことでしょう。現在、名古屋キャンパスでは「人、知、未来、つながり広がる名古屋キャンパス」として整備を進めていますが、そうした“つながり広がる”同窓会と新名古屋キャンパスについてご紹介しています。

特集1は、母校で学び、大学で教鞭をとっておられる同窓生の座談会です。「中京大学の知」を受け継ぎ、今後、次世代へどう伝えていくのか。そんな想いを語っていただきました。

特集2では、多方面で活躍される同窓生にご寄稿、あるいは取材にご協力いただきました。卒業後の歩みは違えど、同窓会を基点とする出会いがあり、その関わりや繋がりが人生を豊かにしてくれるものと思います。同窓会では各県や地域、職域の同窓会、ホームカミングデー、名刺交換会など多くのイベントを実施しています。是非これらにご参加いただき、新たな出会い、絆を大事にしていだければと思います。

最後に、本号の制作にあたり、お忙しい中ご協力いただきました多くの方々に厚くお礼申し上げます。

校友会本部 同窓会通信編集担当



中京大学同窓会の会員証とUCSカードが一体化!

「中京大学 UCSカード」は中京大学同窓会の会員証としてのみならずクレジットカードとしても国内・海外で幅広くご利用いただけます。さらにUCSが提供するうれしい特典が満載のカードです。

校友会のカードとして

中京大学UCSカード会員のショッピング
ご利用金額の一部が**同窓会へ寄付**され、
奨学金として有効に活用されます。

いろいろなお得をご利用ください。

会員さま感謝デーは5%OFF

アピタ・
ユーホーム

毎月19・20日



ピアゴ

毎週金曜日



※直営売場が対象です。
※定休日の場合もごさいます。また金券類、たばこ、
書籍等、一部の指定商品は除外です。
※詳しくは店頭にてご確認ください。

使えばお得が貯まります。Uポイントプラス

Uポイント

プログラム



UCSカードでのお買い物に応じてポイントが貯まって、商品との交換ができる特典です。

ポイント有効期限は最長2年

ご利用200円ごとに1点の
ポイントが貯まります。
ポイント有効期限内にさらなる
ポイントアップを目指してください。
★詳細はカード送付時に同封の
ご利用ガイドをご覧ください。



選べる6つの商品

ポイント有効期限内ならいつでも商品と交換いただけます。

- ◎ユニー商品券
- ◎図書カード
- ◎ギフトカード
- ◎JALマイレージバンク
- ◎(財)日本ユニセフ協会への寄付
- ◎日本赤十字社

商品との換算表

点数	交換商品
1,000点	1,000円
2,000点	2,000円
3,000点	3,000円
4,000点	4,000円
5,000点	5,000円
6,000点	6,000円

※以降1,000点ごとに1,000円増。

UCSカードは安心して、ご利用いただけます。

カード盗難保障

万一、紛失・盗難にあわれても、紛失のお届け日より60日前からの不正利用を本人会員様・家族会員様ともに保障いたします。詳しくはカード送付時に同封のUCSカード盗難保障制度規約をご確認ください。

無料で
おつけ
て
お
り
ま
す。

ショッピング安心保険

UCSカードでご決済・ご購入いただいた商品の、破損・盗難・火災による損害を商品購入日より90日間補償いたします。
(1品1事故購入価格5,000円~100万円・免責3,000円)
※一部補償の対象とならない事故・商品(食品、眼鏡、自転車、携帯電子機器等)がございます。

保険料
無料

旅行のお申し込みでUポイントが貯まる!

「シティツアーズUCS予約センター」へパッケージ旅行のご予約をお申し込みいただき、「UCSカード」でお支払いいただくと、

ご旅行代金(基本旅行代金・各種追加代金)の
Uポイントが5倍になります。

※他の旅行会社およびアピタ・ピアゴ各店舗内の旅行代理店およびシティツアーズ店舗へ直接旅行の予約をされた場合は、サービスを受けられません。

※お取扱いできないツアーがございます。
詳しくは、シティツアーズUCS予約センターまでご確認ください。

お申し込み・お問い合わせ シティツアーズ・UCS予約センター

フリーコール 0120-606-758 営業時間 AM9:30~PM6:00
(日祝・年末年始は休業)

※各サービスのご利用方法等については、カード送付時に同封の「UCSカードご利用ガイド」をご覧ください。

※本サービスは2012年12月現在のものです。予告なくサービスの変更・中止をさせていただきます。

入会金・年会費無料!

お問い合わせは

中京大学校友会本部
(同窓会・教育後援会事務局)

〒466-8666 名古屋市昭和区八事本町101-2
TEL 052-835-7140 FAX 052-835-6069 中京大学URL <http://www.chukyo-u.ac.jp> 校友会本部e-mail koyu@mng.chukyo-u.ac.jp